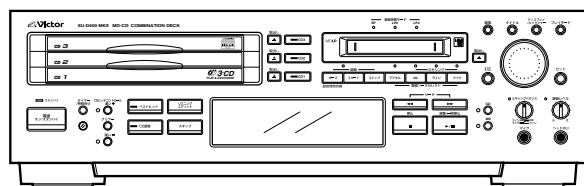
取扱説明書

MD-CDコンビネーションデッキ

型名 XU-D400MKⅡ

●もくじは 2 ページにあります。

－お買いあげありがとうございます－

⚠ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 〜 6 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0773-001C

もくじ

お使いになる前に　ページ

聞く　ページ

録音する　ページ

編集する　ページ

時計・タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

MDLP について

- MDLPはMD規格に適合し、新しい音声圧縮方式のATRAC3を採用したステレオ2倍(または4倍)長時間録音･再生モードの機能を持ったMDレコーダー／プレーヤーまたはATRAC3による音声録音されているMDメディア(レコーダブル･メディアを除く)に表示されています。

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

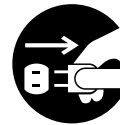
感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止
水ぬれ禁止

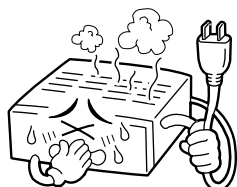
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

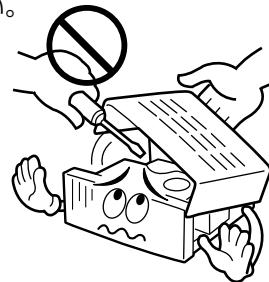
電源プラグを抜く

- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

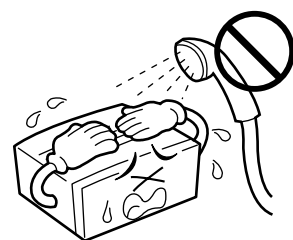
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

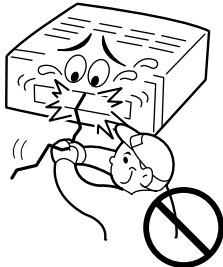
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

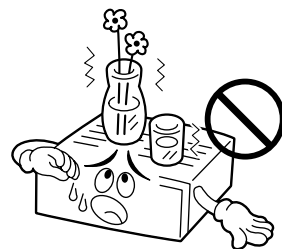
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入った容器を置かない。

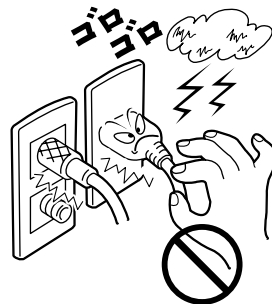
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

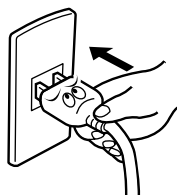
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

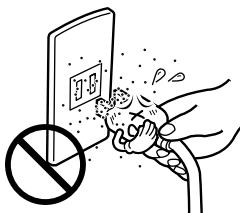
接触禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

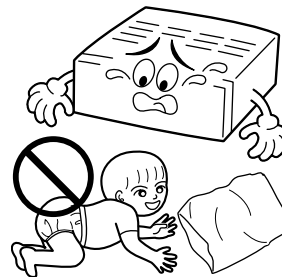
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

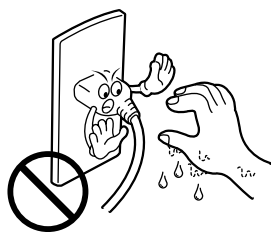
頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

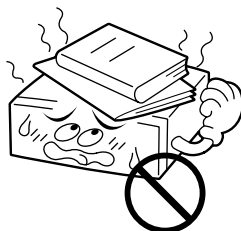
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

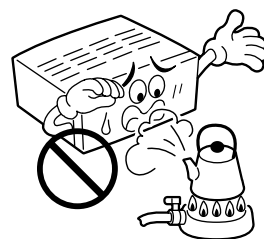
感電の原因となることがあります。

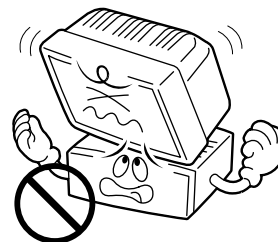
ぬれ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

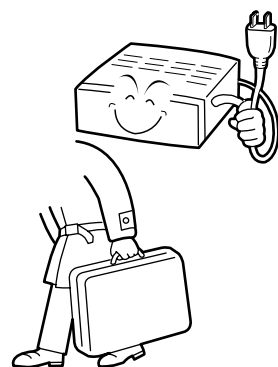
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す
- 本体側面の冷却用の通気孔をふさがない（1cm以上空ける）

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

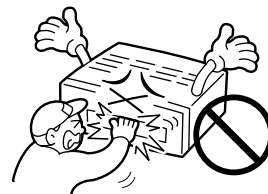
お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

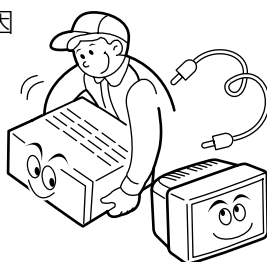
電源プラグを抜く

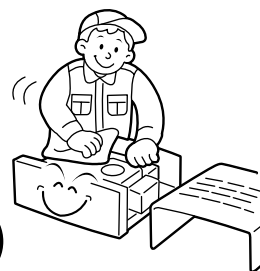
ディスク挿入口に、手を入れない。

トップカバーの開閉時に手を挟まれ、けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

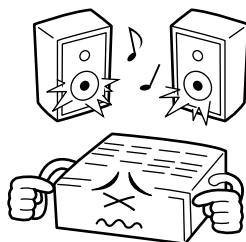
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

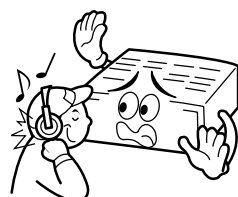
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

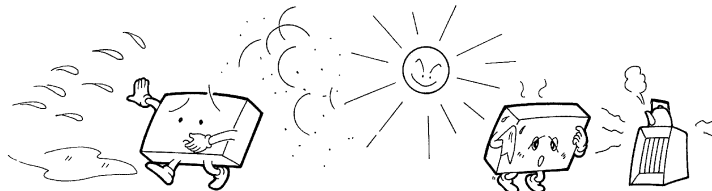
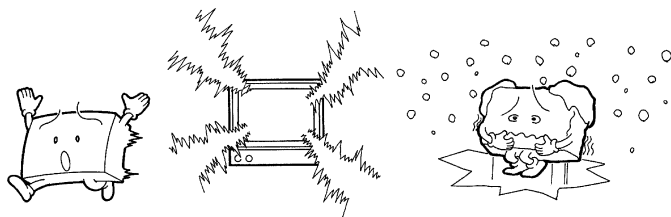
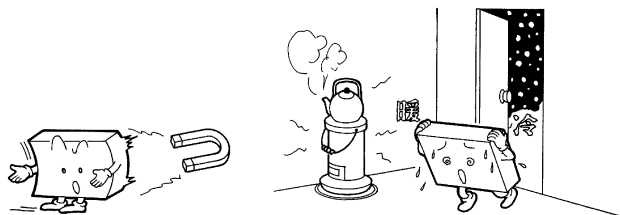
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機やMD、CDの置き場所について

● **故障などを防止するため次の場所は避けてください。本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この温度の範囲外で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。**

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・不安定な所
・OA機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

ヘッドホンについて

●ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

電源について

本機はリモコンやタイマー機能を働かせるため、電源ボタンを押して電源を切っても表示窓の時刻表示やコンピューターのメモリー用に電気を消費しています。

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏（録音）できない場合があります。

●暖房を始めた直後
●湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
●冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

主な特長

● **3CD+MDコンビネーションデッキ**
・CD-TEXT（テキスト）対応
・CD-TEXT文字（トラックタイトル）をMDに同時コピー
・CDのディスクタイトル、アーティスト名の入力可能

● **長時間録音できるMDLP（ロングプレイ）モード搭載**
・MD80で320分のステレオ長時間録音（LP4のとき）

● **光デジタル/ライン/マイクの豊富な入出力**

● **3つのデジタルソースに対応するサンプリングレートコンバーター搭載**
・32kHz/44.1kHz/48kHz

● **録音信号CD+ライン、CD+マイク、ライン+マイクのミキシング録音が可能**
・録音信号ソースは、アナログ3系統（CD、ライン、マイク）

● **3CD+MDのミックスプログラム演奏**
・16曲ずつ3プログラムまで予約可能

● **ワンタッチ、ベストヒット、リスニングエディットの3モードCDシンクロ録音**

● **タイマー機能**
・タイマー再生／タイマー録音（DAILY（デイリー）、ONCE（ワンス））

● **タイトル入力リモコン付属**
・カナ、アルファベット、数字、記号のダイレクト入力可能

● **CD演奏時にピッチコントロール可能（±12%）**

● **ホットスタート機能**
・AC電源ONでセットの電源もON

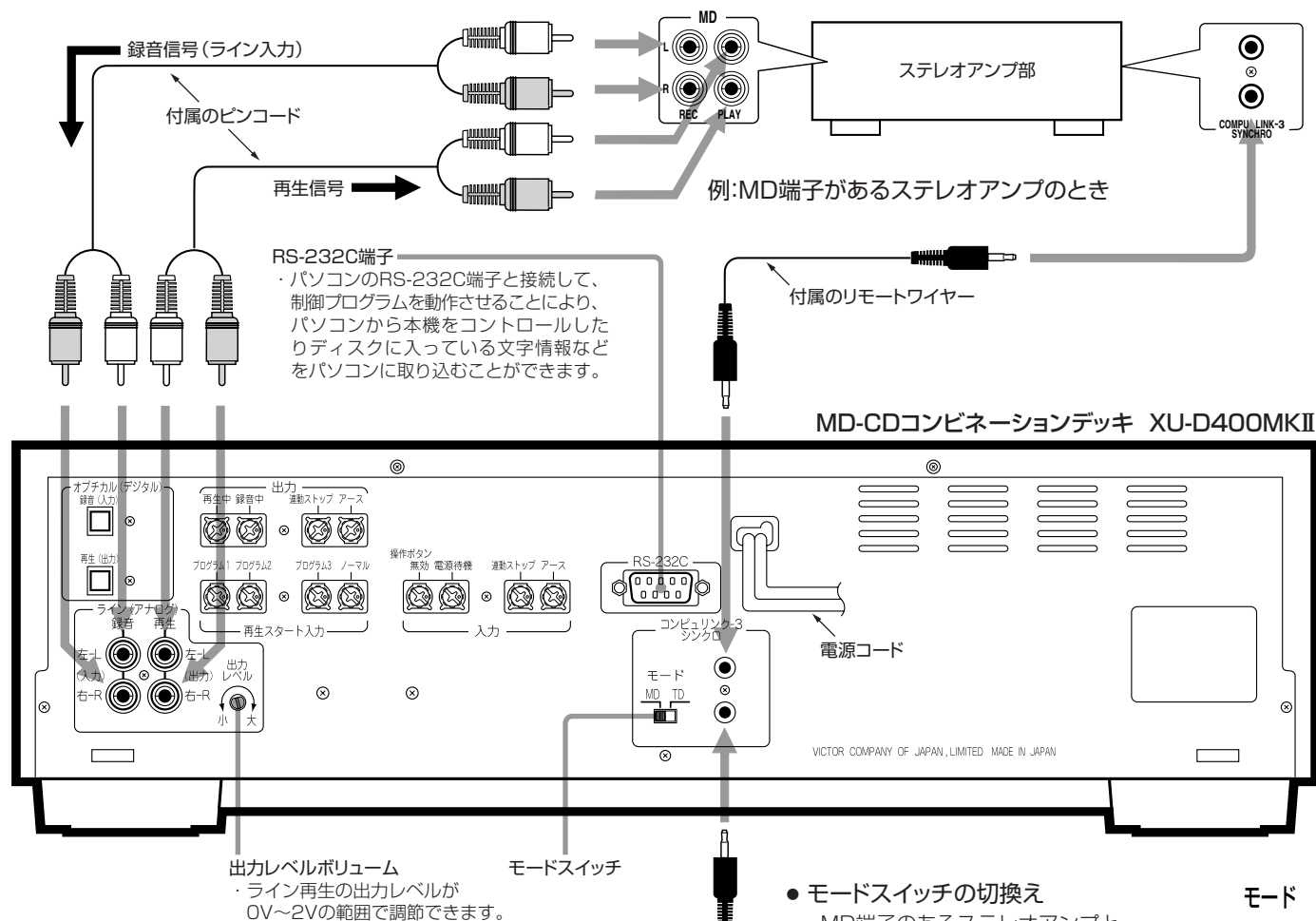
● **RS-232C端子／メイク接点端子付**

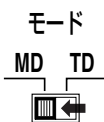
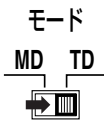
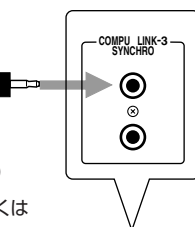
ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

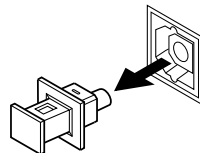
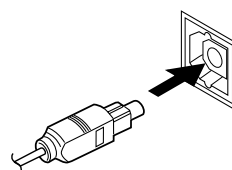
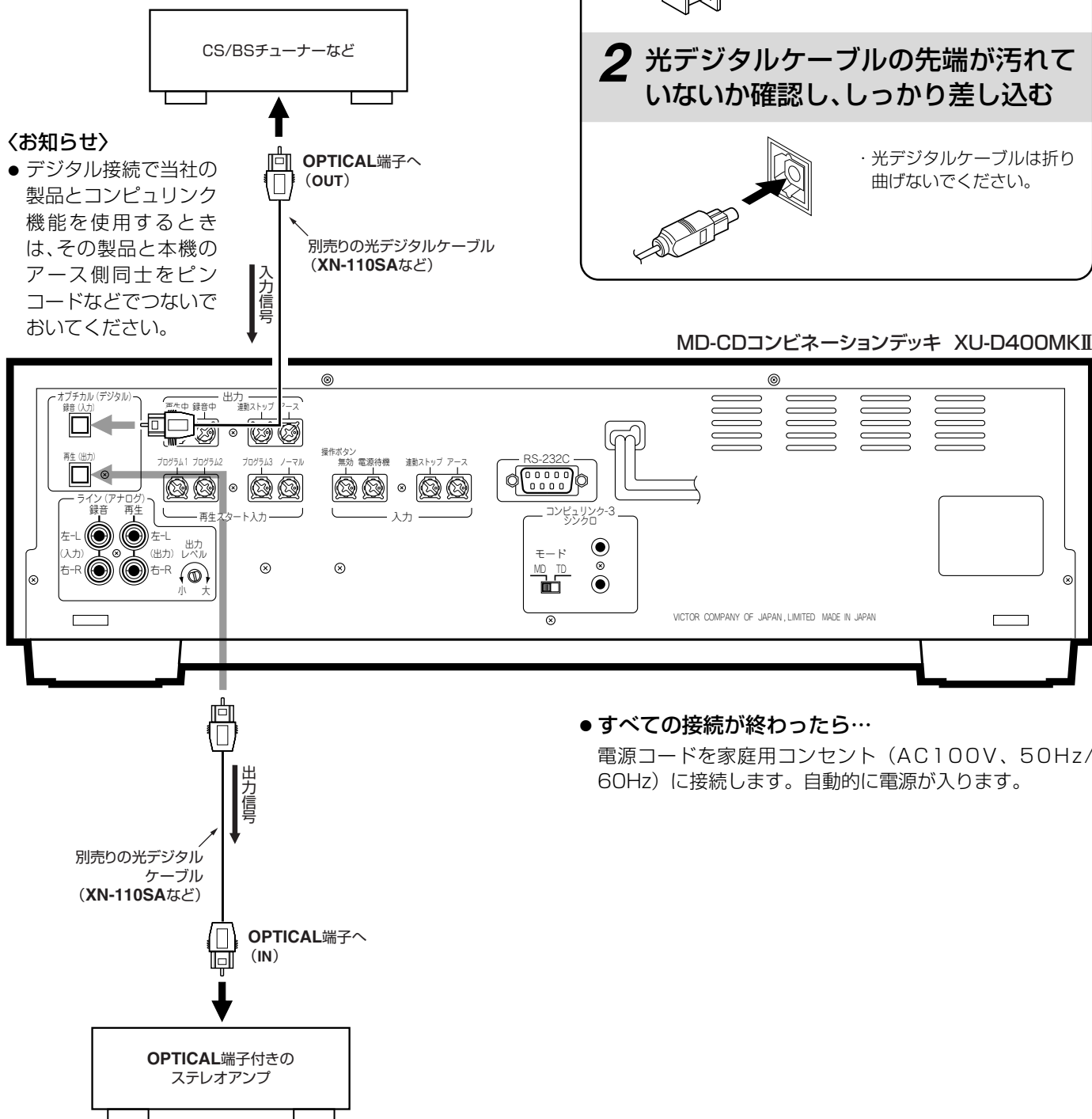
接続のしかた　－すべての接続が終わるまでは電源を入れないでください。－

アナログ接続

● 本機のライン(アナログ)端子とステレオアンプのMD端子(またはTAPE端子)を、付属のピンコードでつなぎます。

〈お知らせ〉

● 付属のピンコードは白色のプラグを左-Lチャンネルに、赤色のプラグを右-Rチャンネルに揃えておきますと、接続ミスが防げます。
● プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
● メーク接点を使用したコントロールとRS-232C端子を使用したコントロールは、同時に行わないでください。誤動作の原因となることがあります。誤動作を防ぐため、RS-232C使用時にはメーク接点への配線を、メーク接点使用時にはRS-232Cケーブルを外しておいてください。
● メイク接点端子の接続のしかたや使いかたは、別冊の「取付説明書」をご覧ください。
● RS-232C端子の詳しい使いかたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
● モードスイッチは、コンピュリンク用のリモートワイヤーを接続したときステレオアンプのソースを指定します。つまりモードスイッチを「MD」側にすると、ステレオアンプは本機をMDデッキとして、「TD」側にするとテープデッキとして扱います。したがってモードスイッチの設定とステレオアンプの入力端子は、同じにしてください。なお、モードスイッチの切換えは、電源コードをコンセントにつなぐ前に行なってください。

デジタル接続　ーあらかじめ光デジタルケーブルが接続できるか確認してください。ー

- 本機のオプチカル(デジタル)端子とステレオアンプおよびソース機器を光デジタルケーブルでつなぎます。
- デジタル信号は1本の接続コードでステレオ信号(L/R)が伝送されます。

- オプチカル(デジタル)端子の接続のしかた

〈お知らせ〉
- デジタル接続で当社の製品とコンピュリンク機能を使用するときは、その製品と本機のアース側同士をピンコードなどでつないでおいてください。

- すべての接続が終わったら…

電源コードを家庭用コンセント(AC100V、50Hz/60Hz)に接続します。自動的に電源が入ります。

〈お知らせ〉
- ピッチコントロールがONのときは、オプチカル再生(出力)の出力信号は出力されません。クリアーボタンを押して標準スピードに戻してお使いください。

各部の名前 ー□ 内の数字のページに説明があります。ー

■ CDの演奏状態の表示について

一時停止にすると点滅します。

1 TEXT

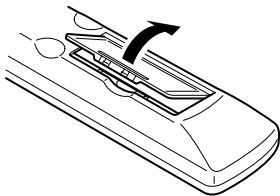
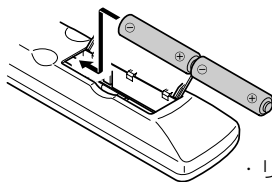
・CDが入っていないことを検出し、「NO DISC」が表示されると消えます。それまで表示され続けます。

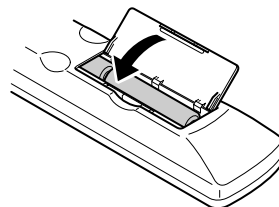
ここが点灯しているCDトレイのCDが演奏できます。

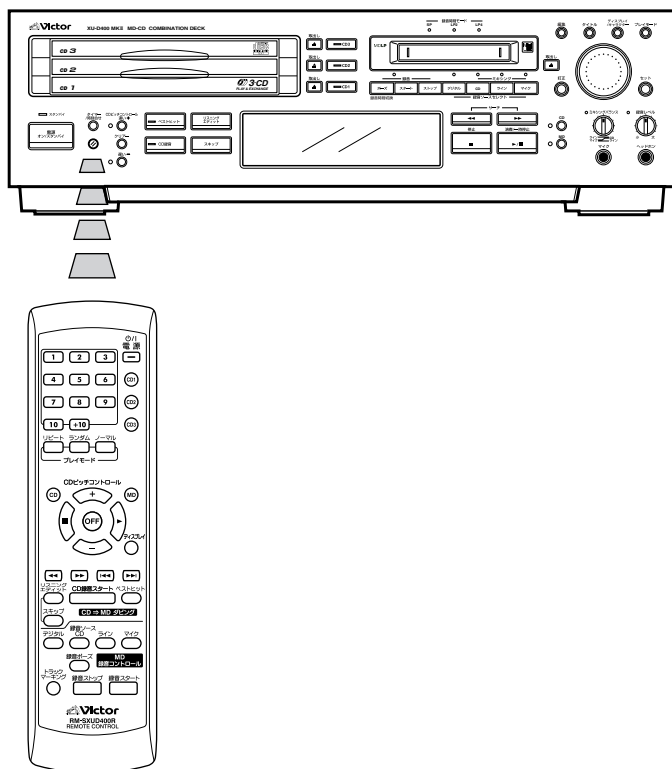
＊ TOC：Table Of Contents の略。
「目次」に相当します。曲が記録されている位置や区切り、曲順（曲番）などが記録されています。

リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

1 フタをあける

2 乾電池(単3形2本)を入れる

・リモコン内部の極性表示に合わせて入れます。

3 フタをしめる

リモコンの操作

通常操作部を使うとき

リモコンの正しい使いかた

- 本体のリモコン受光部に正しく向けてボタンを押してください。
- 操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。
- 動作しないことを避けるため、次のような状態で使用しないでください。
  ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき

各ボタンの名前（通常操作部）

〈お知らせ〉

- リモコン操作できる距離が短くなってきたときは、電池が消耗してきています。
  2本とも新しい電池（単3形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

電源の入／切について

電源の入／切は

〈お知らせ〉

● 本機は、電源コードを家庭用コンセントに接続すると、自動で電源が「入(オン)」になります。

● 電源「入(オン)」にするには

● 表示窓に現在選ばれている本機のモードが表示されます(お買い上げ時は「MD」)。

● 電源「切(スタンバイ)」にするには

● 表示窓は時刻表示になります。
時計を合わせていないときは、点滅します。

(電源「切(スタンバイ)」は、電源ボタン以外ではできません。)

● イチ押しボタンを使って電源「入(オン)」にするには

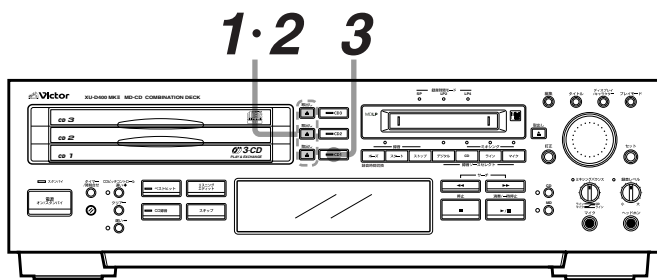
電源「切(スタンバイ)」のとき、下図のボタンを押すだけで電源が入り、本機のモードも切換わります。

	本機のモード	動　作
本 体: CD3 / CD2 / CD1 リモコン: CD1 / CD2 / CD3	「CD」 (ランダム演奏、MIXプログラム演奏のモードのときを除く)	CDが入っているとき押すと、押したボタンのCDトレイから連続演奏になります。 CD1〜CD3のいずれかのランプが点灯になります。
本 体: CD リモコン: CD	「CD」	本機のモードが「CD」になります。 CDランプが点灯になります。
本 体: MD リモコン: MD	「MD」	本機のモードが「MD」になります。 MDランプが点灯になります。

● ▶／❚❚ ボタン〔リモコンは ▶(演奏)ボタン〕を押すと、電源が入り選ばれていたモードになります。CDまたはMDが入っていると演奏がスタートします。

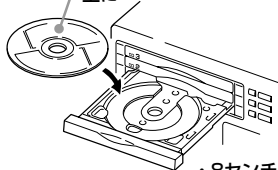
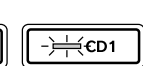
● CD トレイを出し入れしたときは、電源が入りますが本機のモードは切換わりません。またMDが入っているとき ⏏(MD 取出し)ボタンを押すと、MD が出てきたあと電源が「切(スタンバイ)」になります。

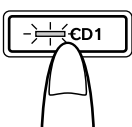
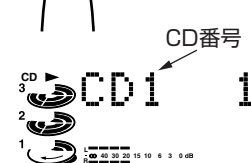
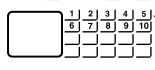
CD を聞く　－番号順に操作します。－

連続演奏（CD1 ～ CD3 を一通り演奏する）

● 例：CD1 から演奏するとき

1 CD1の⏏を押してCDトレイを出す

・電源が入り、CD1 のトレイが出てきます。

2 CDを入れ、⏏ボタンを押してCDトレイをしめる

・8センチCDは、中央の凹部に置きます。

・*1* と *2* を参考にして CD2 の⏏ボタンと CD3 の⏏ボタンを押して、CD2 と CD3 に CD を入れます。

3 CD1を押す ➡ 演奏スタート

・本機のモードが「CD」になり、CD1 の曲番号 1 から演奏されます。

・演奏が終わった曲番号はミュージックカレンダーから消えます。

● CD1 ～ CD3 の演奏が終わると自動停止します。

● すでに CD が入っているときは…

直接 CD1 ～ CD3 のいずれかのボタンを押してください。押したボタンの番号のCDから連続演奏がスタートします。電源「切（スタンバイ）」のとき押すと、電源が入り連続演奏がスタートします。

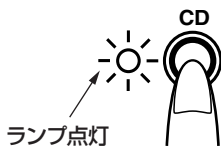
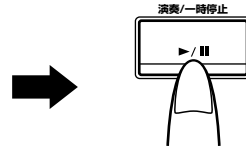
● CD2 から演奏すると…

CD2 ➡ CD3 ➡ CD1 の順に演奏し、自動停止します。

● CD3 から演奏すると…

CD3 ➡ CD1 ➡ CD2 の順に演奏し、自動停止します。

なお途中に CD の入っていないトレイがあるときは、次のトレイに移ります。

● ▶/❚❚ボタンを使って演奏するには

・モードを「CD」にしてから…

押す。◢が表示されているトレイのCDから演奏がスタートします。

● CDの番号と演奏状態の表示について

CDトレイごとにCDの有無や演奏状態が分かります。

CDテキスト対応のCDを入れると表示されます。

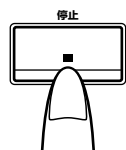
演奏中は順番に点灯し、一時停止中は点滅します。CDが入っていないとき「CD NO DISC」が表示されると消えます。

これが点灯しているトレイのCDが演奏になります。
（ボタンのランプも点灯になります）

<お知らせ>

● 手順 *2* の操作でCDトレイが出ているときCD1ボタンを先に押すと、CDトレイがしまり1曲目から演奏がスタートします。
● CDが入っていないとき▶/❚❚ボタンまたはCD1～CD3のボタンを押すと、「CD NO DISC」が表示されます。
● CDトレイをしめたとき、表示窓が「－－：－－」表示中は⏏ボタンを受け付けません。演奏時間が表示されてから⏏ボタンを押してください。

演奏を停止するには

● 途中で停止するには

・曲数と演奏時間が表示されます。
全部の曲を演奏したときは、自動停止します。

● 一時停止するには

・演奏状態の表示と ❚❚ が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。

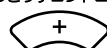
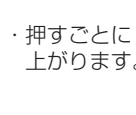
CDピッチコントロールについて

CDの演奏スピードを±12%の範囲で変えることができます。
新曲を覚えるときなどに便利です。

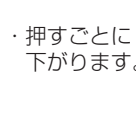
本 体

リモコン

● 音程を上げるときは…

または

・押すごとに1%ずつ上がります。

● 音程を下げるときは…

または

・押すごとに1%ずつ下がります。

標準スピードに戻すときは、クリアーボタン（リモコンはOFFボタン）を押します。
（CD SPEED ±0%が表示されます）

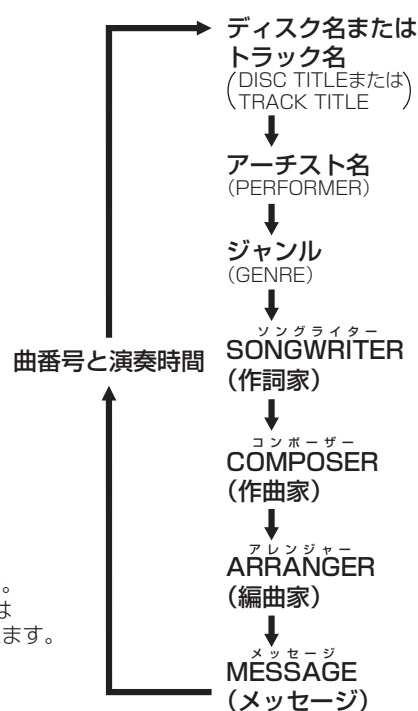
〈お知らせ〉
● CDのワンタッチ録音、ベストヒット録音、リスニングエディット録音の場合、ピッチコントロールをONにしていても解除され標準スピードで録音されます。
● オプチカル再生（出力）の出力信号は、ピッチコントロールがONのときは出力されません。

CDテキストについて

CD TEXT

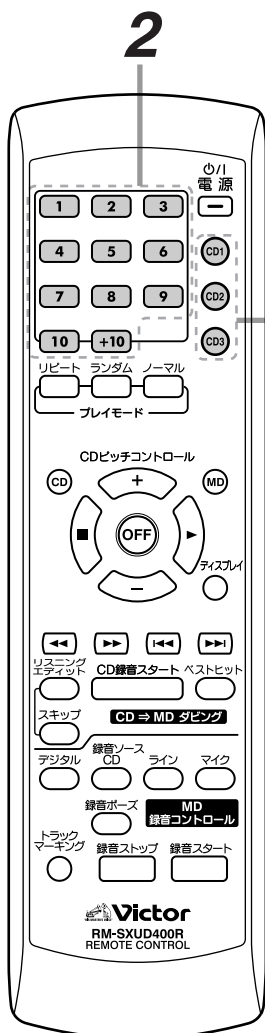
「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。
本機は英数字で「CDテキスト」データを表示します。またMDに録音すると、「CDテキスト」データのうちトラックタイトルも一緒に記録します。

● CDテキストの情報を見るには

停止状態または演奏中にディスプレイ/キャラクターボタン（リモコンはディスプレイボタン）を押します。

〈お知らせ〉
● CDテキストのデータが記録されていない項目は、「NO DATA」が表示されます。

CDを聞く（つづき） ー番号順に操作します。ー

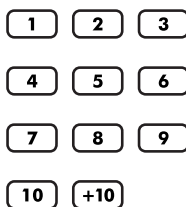
聞きたい曲から演奏（ダイレクト演奏）

リモコンの数字ボタンを押すと、聞きたい曲から演奏することができます。

1 CD1～CD3ボタンのいずれかを押す

CD1 CD2 CD3

・聞きたいCDのボタンを押します。

演奏時間が表示されたら

2 聞きたい曲に合わせて数字ボタンを押す

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 +10

- 1～10曲目のときは･･･
  1 ～ 10 までの希望するボタンを押す。
- 11曲目以上のときは･･･
  +10 のボタンのあと
  1 ～ 10 ボタンを押す。

例：15曲目
+10 ➡ 5 と押す。

例：20曲目
+10 ➡ 10 と押す。

例：25曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5 と押す。

⋮

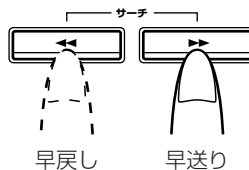
押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

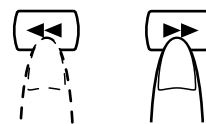
- **演奏中も別の曲に変更できます。**
  聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
  押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

〈お知らせ〉

- +10 ボタンだけではダイレクト演奏はできません。必ず 1 ～ 10 のボタンと併用してください。また、MIX PROGRAM1～3やRAMDOMが表示されているときも、ダイレクト演奏はできません。リモコンのノーマルボタンを押して取り消しておいてください。
- 背面のメーク接点で「操作ボタン無効」に設定してあるとき、本機前面の操作ボタンやリモコンの操作ボタンを押すと「LOCKED」が3秒間表示されます。

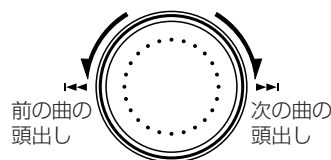
曲の早送り・早戻し（サーチ）

本 体

早戻し 早送り

リモコン

早戻し 早送り

・演奏中に押し続けると、早送り・早戻しができます。
早送り・早戻し中も音が出ますので、聞きたい所で指を離します。 ▶▶ ボタンを押し続けると、次の曲(CD)に移ります。

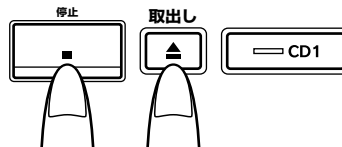
曲の頭出し（スキップ）

本 体

リモコン

前の曲の頭出し
（演奏中に押すとその曲の頭出し）
次の曲の頭出し

・本体の場合、ジョグダイヤルを回すごとに前後の曲の頭出しができます。リモコンのときは ▶▶| または |◀◀ ボタンを「ポン」と押します。演奏中にジョグダイヤルを ▶▶| 方向に回すか、またはリモコンの ▶▶| ボタンをくり返し押すと、次のCDに移ります。

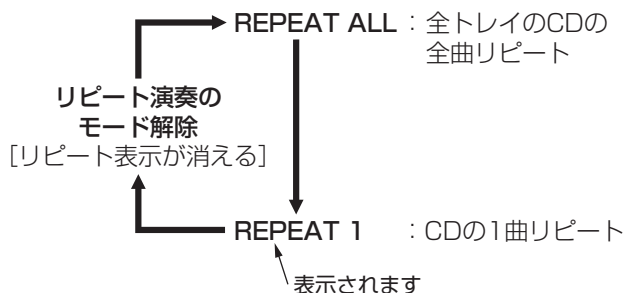
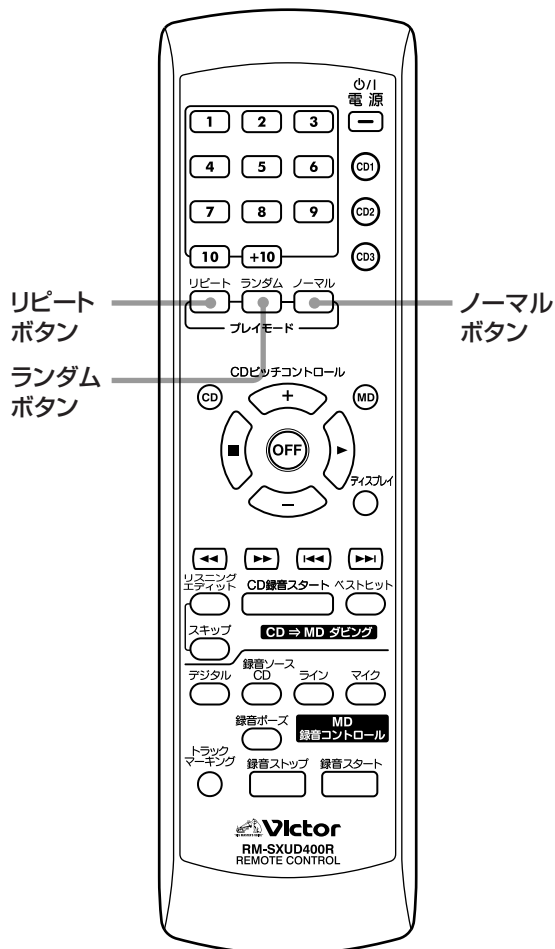
チャイルドロックについて

- 他の人が、CDの出し入れをできないようにCDトレイをロックできます。電源「切(スタンバイ)」のとき■(停止)ボタンを押しながらCD1の⏏ボタンを同時に押します。

・電源「切（スタンバイ）」のとき同時に押します。

表示窓に「LOCKED」が3秒間表示され、CDの出し入れができなくなります。解除するときは、もう一度同じ操作をしてください。「UNLOCKED」が3秒間表示されます。

- チャイルドロック中にCD1～CD3のいずれかの⏏ボタンを押すと「LOCKED」が３秒間表示されます。

リピート演奏（リモコンを使います）

・本機のモードが「CD」のとき、リモコンのリピートボタンを押すと、リピート演奏のモードが選べます。押すごとに表示窓に表示されます。

CD1 〜 CD3 ボタンまたは▶ボタン(本体は▶／❚❚ボタン)を押すと、選んだリピート演奏のモードでくり返し演奏されます。

ランダム演奏

・本機のモードが「CD」のとき、本体のプレイモードボタンまたはリモコンのランダムボタンを押すと、無作為な順番で演奏するモードにすることができます。

本 体

・停止状態のとき押す

リモコン

・停止状態のとき押す

▶／❚❚ボタン（リモコンは▶ボタン）を押すと、ランダム演奏がスタートします。

● **ランダム演奏のモードを解除するには**

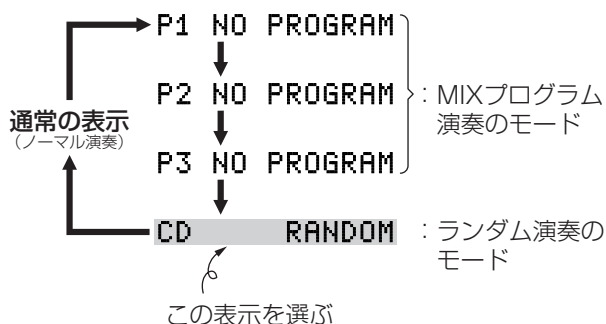
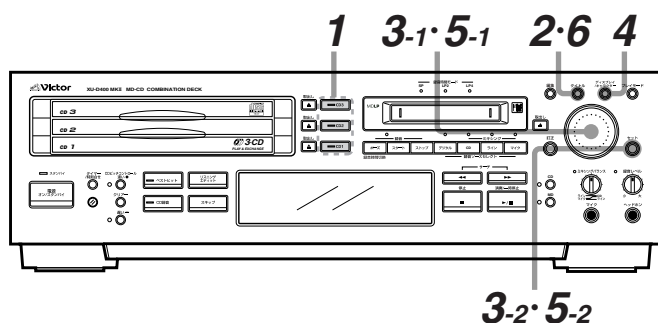
停止状態のとき本体のプレイモードボタンを押すと、「RANDOM」表示が表示窓から消えて解除されノーマル演奏になります。

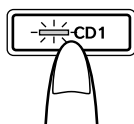
リモコンの場合は、ノーマルボタンを押すと解除することができます。

ノーマル

〈お知らせ〉

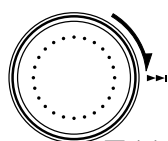
● リピート演奏のモードやランダム演奏のモードは、本機のモード(「CD」または「MD」)に関係なく選べます。また本機のモードを変えても残ります。使い終わったらリピート演奏のモードやランダム演奏のモードを解除しておきましょう。

聞く

CD に名前をつける – CD テキスト対応以外の CD にタイトル名やアーティスト名が最大 32 文字でつけられます。–

1 名前をつけるCDを選ぶ

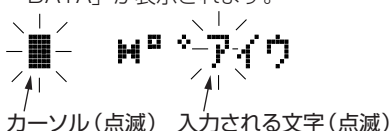
例：CD1 のとき

・CD の演奏中または停止状態のどちらでも名前をつけることができます。ノーマル演奏のモードになっていないと、名前をつけることはできません。

2 タイトルボタンを押す

・タイトル名の入力モードになります。

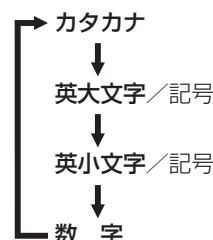
3 ジョグダイヤルで項目を選びセットボタンを押す

DISC TITLE ：タイトル名の入力モード
↓
PERFORMER（パフォーマー）：アーティスト名の入力モード
↓
GENRE（ジャンル）：ジャンル（種類）の入力モード

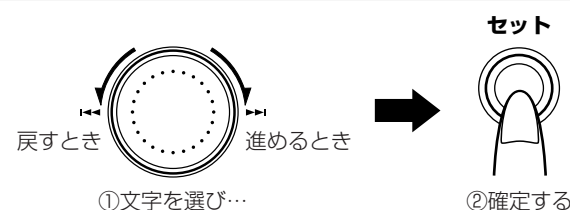
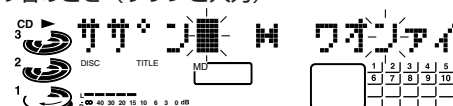
戻すときは左に回す。

・PERFORMERまたはGENREを選んだときは、名前がついていないと「NO DATA」が表示されます。

●ジャンルを選んだときは、セットボタンを押したあと ➡ 21 ページの手順 **4**へ進みます。

〈お知らせ〉
- 名前は、最大で200枚まで本機にメモリーできます。そのCDを入れるとつけた名前が表示されます。
- CDにつけたディスクタイトルは、MDに録音時にMDのトラックタイトルにコピーされます。

● タイトル名またはアーティスト名の入力のとき

4 ディスプレイ／キャラクターボタンで文字の種類を選ぶ

●詳しくは ➡ 42 ページ「文字配列表」参照

5 ジョグダイヤル ➡セットボタンで名前を入力する（最大32文字まで）

例：タイトル名のとき（サザンと入力）

・間違えたときは訂正ボタンで取り消します。
・手順 **4**と **5**のくり返しで好きな名前を入力します。
・途中の文字を消したいときは ◀◀ ボタンでカーソルを合わせ訂正ボタンを押します。そのあと文字を選びセットボタンを押すと、文字の修正ができます。
・スペース（空白）を入れるときは、入力中に ▶▶ ボタンを押すか、またはジョグダイヤルで（空白）を選びます。

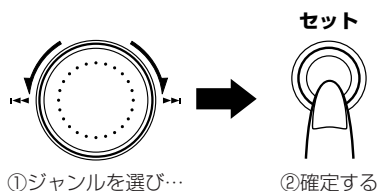
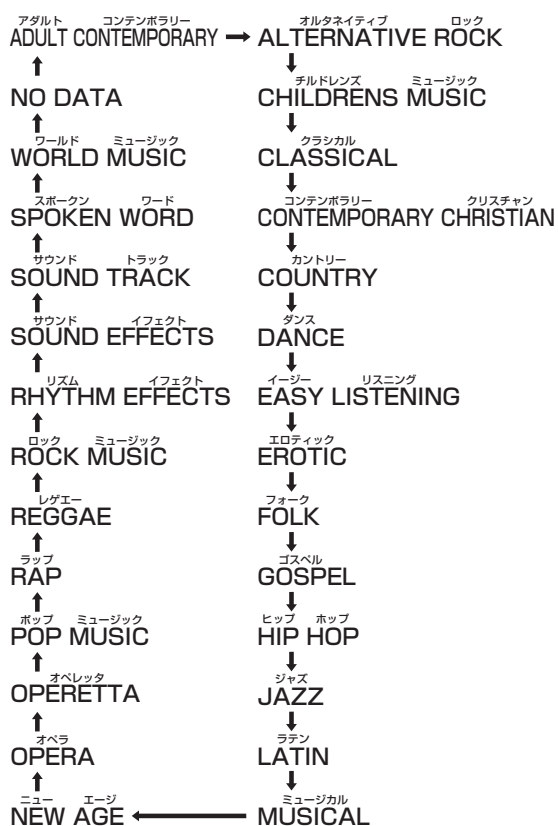
● タイトル名またはアーティスト名をつけ終わったら

6 タイトルボタンを押す

・「EDITING」が表示されます。名前がメモリーICに記録されます。
・アーティスト名をつけるときは、手順 **2**から操作をくり返します。

〈お知らせ〉
- **操作を途中で止めるときは･･･**
  ■（停止）ボタンを押します。停止中のときは▶/IIボタンを押します。
- 電源コードを抜いた状態（または停電）になっても約1時間は、CDにつけた名前をメモリーしています。1時間以上そのままにしておくとメモリーした内容は、消えてしまいますのでご注意ください。

● ジャンルの入力のとき(20 ページ手順3 に続いて…)

4 ジョグダイヤルでジャンルを選び セットボタンで確定する

・ジョグダイヤルを回すごとに、27種類の中から選べます。14ケタ以上のジャンルはスクロール表示されます。

5 タイトルボタンを押す

タイトル

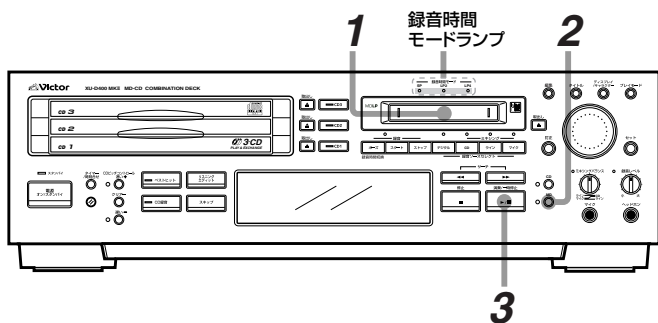
・「EDITING」が表示されます。
名前がメモリーICに記録されます。

〈お知らせ〉

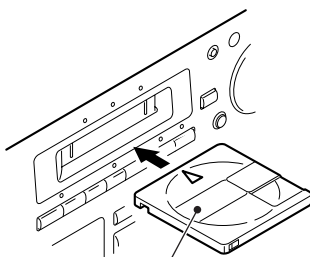
● **メモリーICにメモリーしたジャンルを取り消すには**

ジョグダイヤルで「NO DATA」選びセットボタン ➡ タイトルボタンと押すと、取り消されます。
別の種類を選び上書きで記録し直すこともできます。

聞く

MD を聞く　ー番号順に操作します。ー

全部の曲の演奏

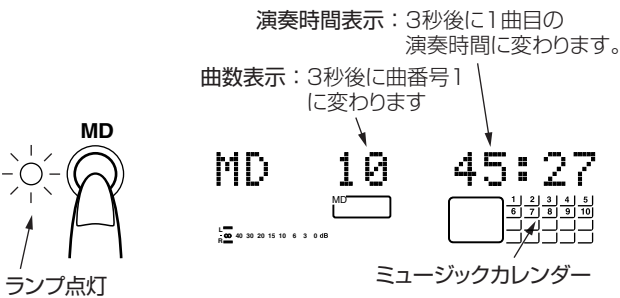
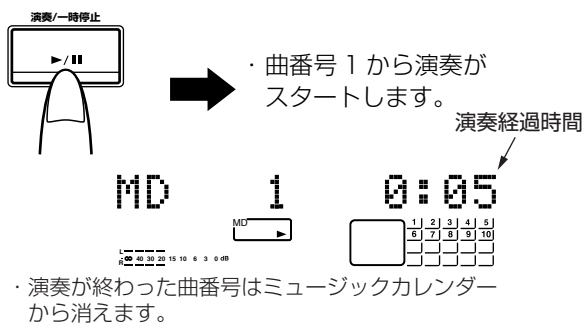
1 MDを入れる

・ラベル面を上にし、矢印方向に差し込むと電源が入り自動的に中に引き込まれます。
・本機のモードが「MD」だったときは、「TOC READING」と MD［　］ が表示され、MDが入っていることを表します。曲数と演奏時間が表示されます。

ラベル面を上にし、▷または⇨の表示に従って入れる。

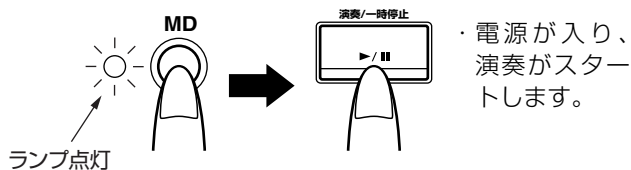
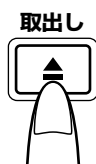
2 MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

3 ►/II ボタンを押す ➡ 演奏スタート

・曲番号 1 から演奏がスタートします。

・演奏が終わった曲番号はミュージックカレンダーから消えます。

● 全部の曲の演奏が終わると自動停止します。

MDが入っているときは

・電源が入り、演奏がスタートします。

● MD を取り出すときは

MDの⏏ボタンを押します。表示窓に「MD EJECT」が表示され、MD が出てきます。「MD NO DISC」表示になり MD［　］ の表示は消えます。
電源「切（スタンバイ）」のときでも取り出しができます。
この場合、MD が出てくると、電源は自動で切れます。

MDの再生モードについて

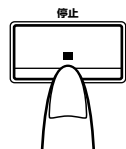
MD は録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、録音時間モードランプが点灯し、その MD の再生モードを表します。

- SP：本機でステレオ録音したMDまたはMDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- LP2：ステレオ2倍長時間録音したMDのとき
- LP4：ステレオ4倍長時間録音したMDのとき

〈お知らせ〉

● 停止時は、録音ポーズ／録音時間切換ボタンで設定した録音モードを表示します。

演奏を停止するには

● **途中で停止するには**

・曲数と演奏時間が表示されます。
全部の曲を演奏したときは、自動停止します。

● **一時停止するには**

・演奏状態の表示とIIが点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。

〈お知らせ〉
- 未使用のMDを入れると…
「MD BLANK DISC」が表示され演奏はできません。
- MD が入っていないとき本機のモードを「MD」にすると、「MD NO DISC」が表示されます。

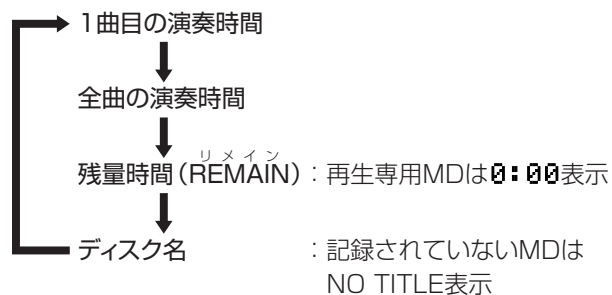
表示窓の表示を変えるには

本 体

リモコン

ディスプレイ

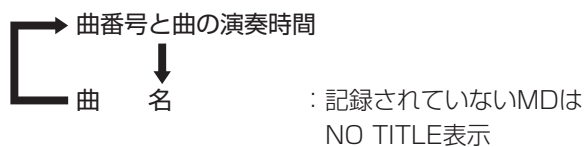
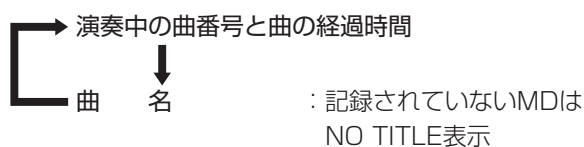
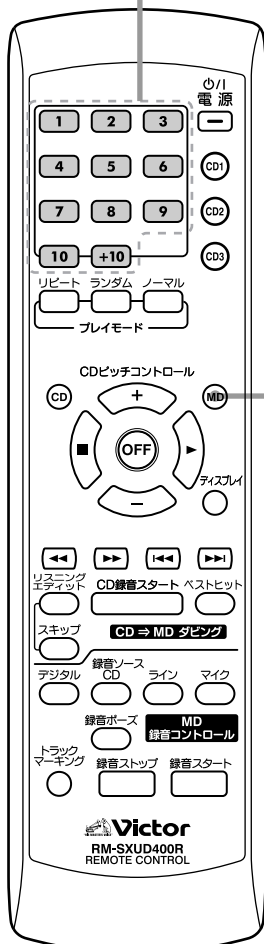
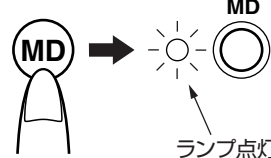
・ディスプレイ/キャラクターボタン（リモコンはディスプレイボタン）を使います。
押すごとに次のように変わります。

● **停止状態のときは**

本体のジョグダイヤル（またはリモコンの⏮、⏭ボタン）で曲を選んでいるときは

曲番号と曲の演奏時間
↓
曲　名 ：記録されていないMDは
NO TITLE表示

● **演奏中は**

演奏中の曲番号と曲の経過時間
↓
曲　名 ：記録されていないMDは
NO TITLE表示

聞く

聞きたい曲から演奏（ダイレクト演奏）

リモコンの数字ボタンを押すと、聞きたい曲から演奏することができます。

1 MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

演奏時間が表示されたら

2 聞きたい曲に合わせて数字ボタンを押す

- 1～10曲目のときは･･･ 1 ～ 10 までの希望するボタンを押す。
- 11曲目以上のときは･･･ +10 のボタンのあと 1 ～ 10 ボタンを押す。

例：15曲目
+10 ➡ 5 と押す。

例：20曲目
+10 ➡ 10 と押す。

例：25曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5 と押す。

⋮

押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

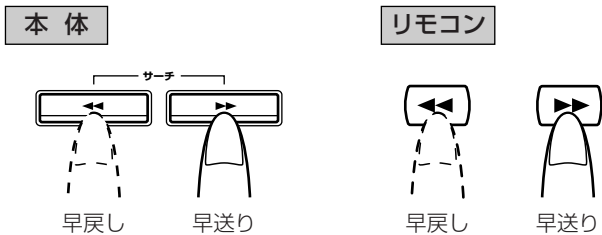
- **演奏中も別の曲に変更できます。**
  聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
  押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

〈お知らせ〉
- +10 ボタンだけではダイレクト演奏はできません。必ず 1 ～ 10 のボタンと併用してください。またMIX PROGRAM1～3やRANDOMが表示されているときも、ダイレクト演奏はできません。リモコンのノーマルボタンを押して取り消しておいてください。

曲の早送り・早戻し（サーチ）

本 体

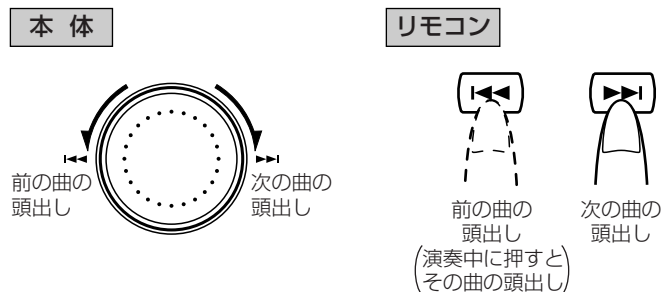
リモコン

早戻し　早送り

・演奏中に押し続けると、早送り・早戻しができます。
早送り･早戻し中も音が出ますので、聞きたい所で指を離します。

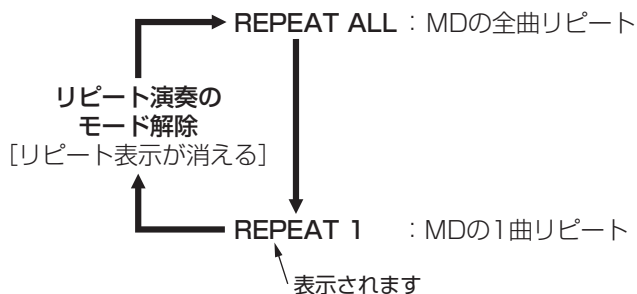
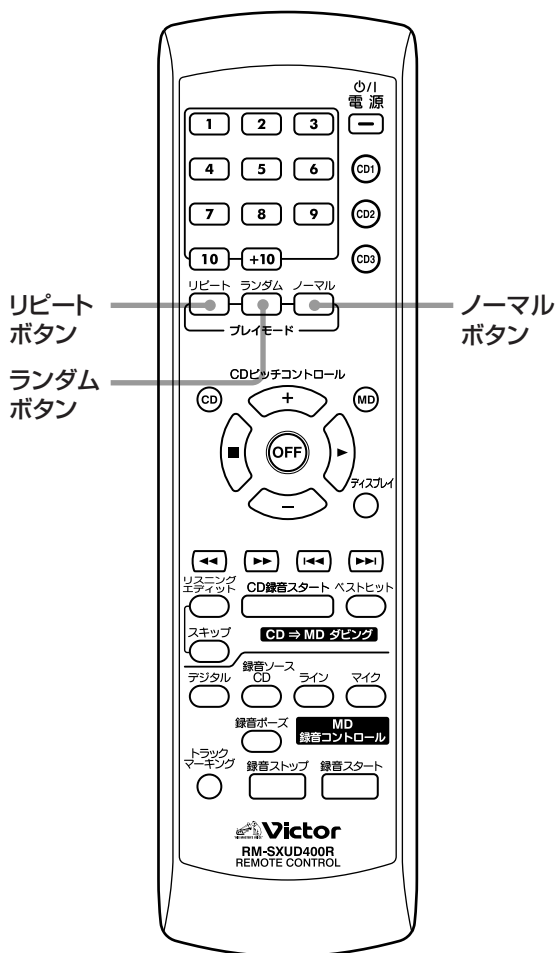
曲の頭出し（スキップ）

本 体

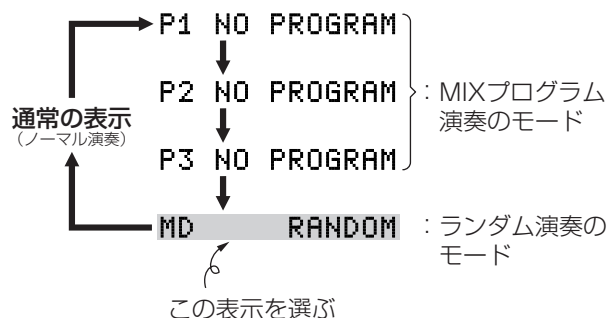
リモコン

前の曲の頭出し（演奏中に押すとその曲の頭出し）　次の曲の頭出し

・本体の場合、ジョグダイヤルを回すごとに前後の曲の頭出しができます。リモコンのときは ⏭ または ⏮ ボタンを「ポン」と押します。

リピート演奏（リモコンを使います）

・本機のモードが「MD」のとき、リモコンのリピートボタンを押すと、リピート演奏のモードが選べます。押すごとに表示窓に表示されます。

▶ ボタン（本体は▶／❙❙ ボタン）を押すと、選んだリピート演奏のモードでくり返し演奏されます。

ランダム演奏

・本機のモードが「MD」のとき、本体のプレイモードボタンまたはリモコンのランダムボタンを押すと、無作為な順番で演奏するモードにすることができます。

本 体

・停止状態のとき押す

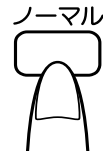
リモコン

・停止状態のとき押す

▶／❙❙ボタン（リモコンは ▶ ボタン）を押すと、ランダム演奏がスタートします。

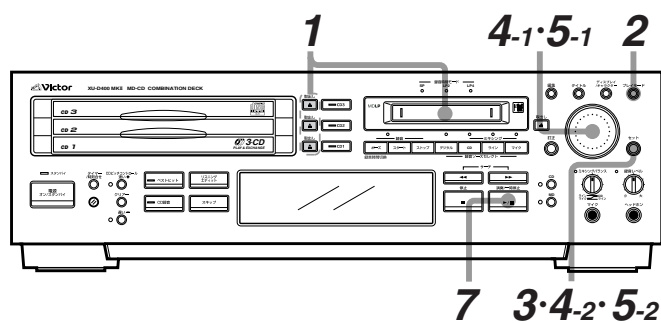
● **ランダム演奏のモードを解除するには**

停止状態のとき本体のプレイモードボタンを押すと、「RANDOM」表示が表示窓から消えて解除されノーマル演奏になります。

リモコンの場合は、ノーマルボタンを押すと解除することができます。

〈お知らせ〉

● リピート演奏のモードやランダム演奏のモードは、本機のモード（「CD」または「MD」）に関係なく選べます。また本機のモードを変えても残ります。使い終わったらリピート演奏のモードやランダム演奏のモードを解除しておきましょう。

MIX プログラム演奏 ー番号順に操作します。ー

● プログラム1～3にそれぞれ最大16曲まで予約できます。MDとCD1～CD3は任意に選べます。

1 プログラムしたいMDとCDを入れる

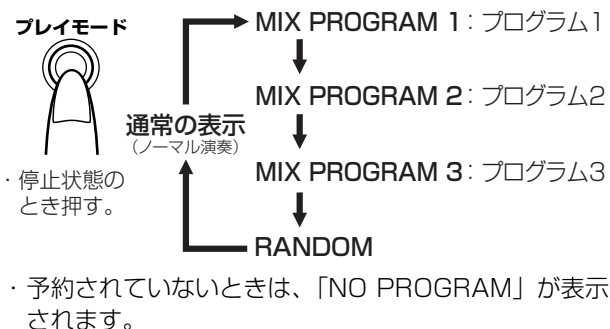
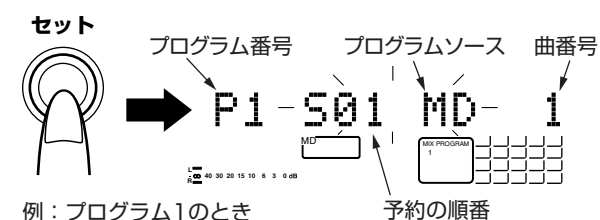
・入っていないMDやCDをプログラムしても演奏できません。次のプログラムに移ります。

2 プレイモードボタンでプログラムモードを選ぶ

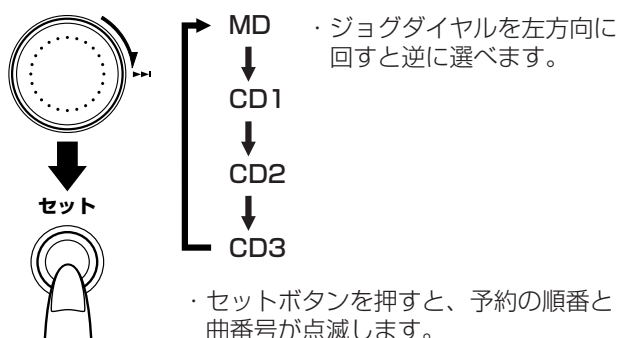
・停止状態のとき押す。

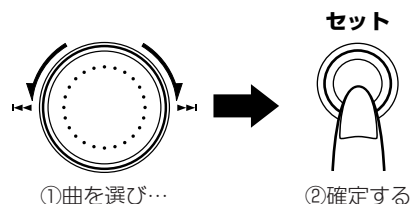
・予約されていないときは、「NO PROGRAM」が表示されます。

3 セットボタンを押す

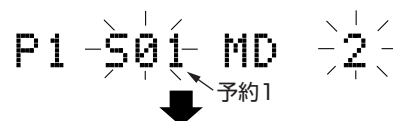
例：プログラム1のとき

4 ジョグダイヤルでプログラムソースを選びセットボタンで確定する

・ジョグダイヤルを左方向に回すと逆に選べます。

・セットボタンを押すと、予約の順番と曲番号が点滅します。

5 ジョグダイヤルで曲を選びセットボタンで確定する

①曲を選び…　②確定する

● 予約1にMDの2曲目を選ぶと

● セットボタンで確定すると

・ミュージックカレンダーに曲番号が表示されます。

6 4と5をくり返す（最大16曲まで可能）

・MDだけまたはCDだけプログラムすることもできます。

7 ►/❚❚ボタンを押す ➡ MIXプログラム演奏スタート

・演奏が終わった曲の曲番号は、ミュージックカレンダーから消えますが演奏が終わると表示されます。

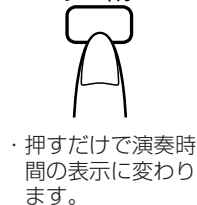
● **予約した曲の演奏が終わると、自動停止します。**
プログラム2と3も同様の手順で操作できます。

● **プログラムモードを通常の状態（ノーマル演奏）に戻すには**

本体

・表示窓に演奏時間が表示されるまでくり返して押す。

リモコン

・押すだけで演奏時間の表示に変わります。

〈お知らせ〉
- 実際にはない曲番号をプログラムすると、その曲は演奏時にスキップされます。
- 予約を確認するには
  予約中に予約内容を確認したいときは、■(停止)ボタンを押したあとジョグダイヤルで確認します。
- 予約を取り消すには
  訂正ボタンを押します。「NO PROGRAM」が表示されると取り消されます。
- プログラムした内容は、MDやCDを取出してもメモリーされています。電源を「切(スタンバイ)」にしても取り消されません。
  取り消すときは、本体の訂正ボタンを押してください。
- 電源コードを抜いた状態(または停電)になっても約1時間は、プログラムした内容をメモリーしています。1時間以上そのままにしておくとメモリーした内容は、消えてしまいますのでご注意ください。
- タイマー再生のときMIXプログラムモードで曲を予約しておくと、電源が入ったときMIXプログラム演奏になります。
- プログラムしないで▶／❚❚(リモコンは▶)ボタンを押すと、ノーマル演奏になります。

録音する前に

録音の種類

本機では、以下の５種類の録音ができます。

- **マニュアル録音（29 ページ）**
  録音ソースのいずれか一つを選んで録音します。
  ・デジタル
  ・CD（CD1 ～ CD3）
  ・ライン
  ・マイク
- **CD のワンタッチ録音（30 ページ）**
  CDを選びCD録音ボタンを押すと、ワンタッチでまるごと録音できます。
- **CD のベストヒット録音（31 ページ）**
  ベストヒットボタンを押すと、CD1 ～ CD3 の１曲目だけを録音することができます。オリジナルのヒット曲集が作れます。
- **CD のリスニングエディト録音（32 ページ）**
  CDを選びリスニングエディトボタンを押すと、好きな曲だけをプログラムして録音できます。
- **ミキシング録音（33 ページ）**
  CD+ライン、CD+マイク、ライン+マイクのいずれかの組み合わせでミキシング録音ができます。

＜お知らせ＞
- ライン入力とマイク入力、ミキシング録音はアナログ入力での録音になります。録音入力のレベル調節が必要になります。
- 誤消去防止つまみを開いた状態のMDで録音操作をすると、「DISC PROTECTED」が3回表示され録音にはなりません。

トラックマークをつける

MD には、曲ごとの頭の部分に頭出しのためのマークがついています。これをトラックマークといい、トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされます。
本機は、このトラックマークを録音中に自動（AUTO）でも手動（MANUAL）でもつけることができます。
切換えは、停止中または録音中にリモコンのトラックマーキングボタンを使います。なお、CDのシンクロ録音時は自動でトラックマークがつきます。（➡ 30 ～ 32 ページ参照）

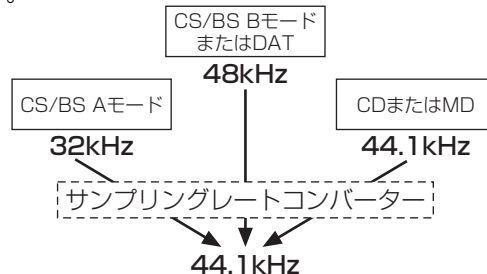
：自動
：手動

・押すごとに変わります。

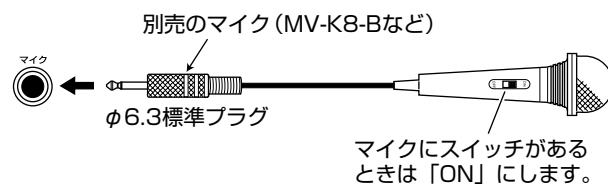
- **自動（AUTO）のときは**
  ・デジタル録音時：録音ソースのトラックが変わると、自動的にトラックマークがつきます。
  ・アナログ録音時：録音ソースの無音状態が3秒以上続くと、自動的にトラックマークがつきます。

- **手動（MANUAL）のときは**
  録音中に好きなところで、本体のセットボタンを押してトラックマークをつけます。

サンプリングレートコンバーターについて

本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、録音ソースのサンプリング周波数*（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なくデジタル信号のまま44.1kHzで録音されます。

＊サンプリング周波数とは…
信号をデジタル化するには、その波を細かく分解します。この分解を１秒間に何回するのかを表した数字です。例えば、サンプリング周波数48kHzなら、１秒間に48,000回、波を分解しているということです。

マイクの接続について

標準プラグ仕様のマイクを使用します。

MDのステレオ長時間録音について

今までMDの長時間録音は、モノラル2倍長録音でしたが、本機はステレオのまま２倍長時間録音または４倍長時間録音ができます。録音ソースや、録音方式に関係なく設定できます。
また１枚のMDに異なる録音モード（SP、LP2またはLP4）の曲を混ぜて録音することもできます。
停止状態のとき、録音ポーズ／録音時間切換ボタンを押して選びます。

・押すごとに録音モードが選べます。

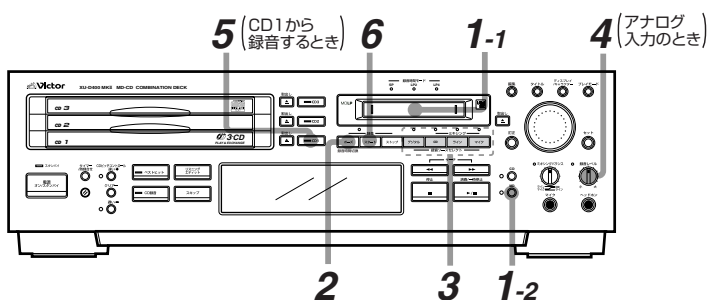
SP：標準のステレオ録音
SP2：ステレオ2倍長時間録音
LP4：ステレオ4倍長時間録音

〈お知らせ〉
- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音したMDの曲は、MDLPに対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。
  表示窓にLP:が表示され無音状態になります。演奏が可能なMDLPに対応した機器では、LP:は表示されません。

録音について知っておいてほしいこと

- **途中まで録音してある MD の場合、その終わりを自動的に探して録音されます。**
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE（➡ 39ページ参照）で全部の曲を消してから録音してください。
- **MD には最大 254 曲まで録音できます。**
- **MD は通常ステレオで録音されます。**

マニュアル録音 ー番号順に操作します。ー

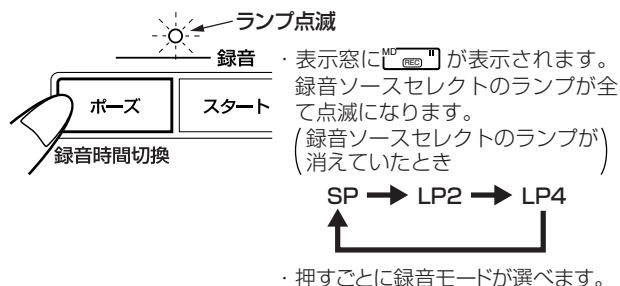
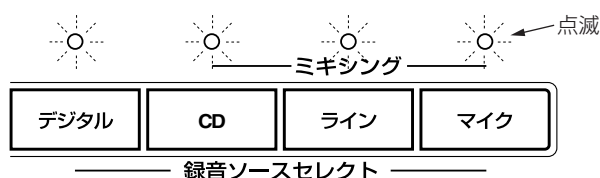
● 録音ソース（デジタル、CD、ラインまたはマイク）のいずれか一つを選んで録音します。

1 録音用のMDを入れ本機のモードを「MD」にする

・ラベル面を上にして差し込みます。

2 録音ポーズ／録音時間切換ボタンを押して録音モードを選ぶ（この間、録音ポーズのままです）

・表示窓にMD REC IIが表示されます。録音ソースセレクトのランプが全て点滅になります。（録音ソースセレクトのランプが消えていたとき）

SP ➡ LP2 ➡ LP4

・押すごとに録音モードが選べます。

3 録音ソースを選ぶ（いずれか一つ）

・同じボタンをもう一度押すと、取り消すことができます。

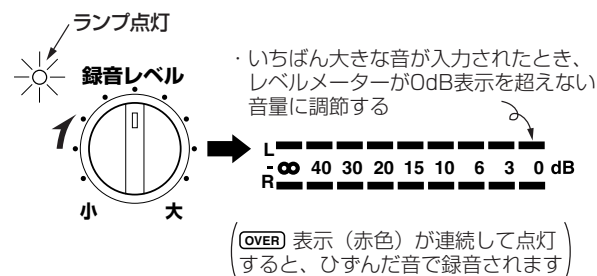
・デジタル　：オプチカル録音端子に接続した機器の音を録音（デジタル入力）
デジタル優先になっていますので、他の録音ソースを選んでいたときもデジタルを選択するとデジタル入力のモードになります。もう一度押すと、元の録音ソースに戻ります。
・CD　：CD1～CD3に入れたCDを録音＊
・ライン　：ライン録音端子に接続した機器の音を録音（アナログ入力）
・マイク　：マイク端子に接続したマイクからの音を録音（アナログ入力）

● 選んだ録音ソースのランプが点灯に変わり、他は消灯します。
● アナログ入力の場合、録音レベルの調節ができます。

＊ ピッチコントロールがONのときはアナログ入力、OFFでCDのみ録音するときはデジタル入力になります。

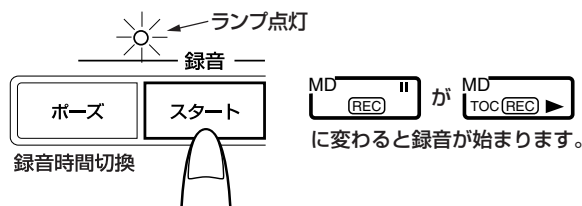
4 アナログ入力の場合、録音レベルを調節する

・いちばん大きな音が入力されたとき、レベルメーターが0dB表示を超えない音量に調節する

（OVER 表示（赤色）が連続して点灯すると、ひずんだ音で録音されます）

5 録音ソースの音を出す

・CDの場合、CD1ボタンを押すとCD1➡CD2➡CD3の順に録音できます。

6 録音スタートボタンを押す➡録音スタート

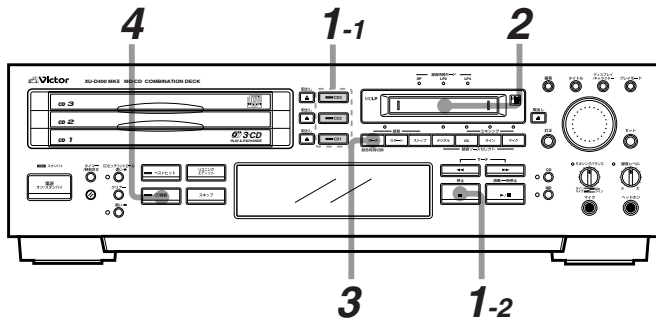
に変わると録音が始まります。

● **MDの録音が終わると**
「UTOC WRITING」表示のあと自動停止します。

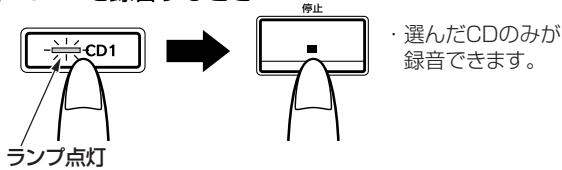
● **録音を途中でやめるときは**
録音ストップボタンを押します。

〈お知らせ〉
● 先に録音ソースを選んでから録音ポーズにすることもできます。
● 「DIGITAL IN UNLOCK」がスクロール表示されるときはオプチカル録音端子がソース機器と接続されていません。接続を確認してください。
● デジタル入力の場合、デジタルのままで録音されます。録音レベルの調節は必要ありません。表示窓にDIGITALが表示されます。
● CDの場合、リピート演奏のモードがREPEAT1になっていると、最初の1曲のくり返し録音になります。リピート演奏のモードを解除しておいてください。
● MDの録音が終了すると「UTOC WRITING」が表示されます。表示中に他のボタンを操作すると、MDが使えなくなる恐れがあります。
必ず「UTOC WRITING」の表示が消えてから、次の操作をしてください。

ご注意
● お買い上げの状態では録音ソースが「CD」になっております。ラインまたはマイク入力の録音をするときは、いったんCDボタンを押してランプを消灯させてください。そのままラインボタン（またはマイクボタン）を押すと、ミキシング録音のモードになります。

CDのワンタッチ録音 ー番号順に操作します。ー

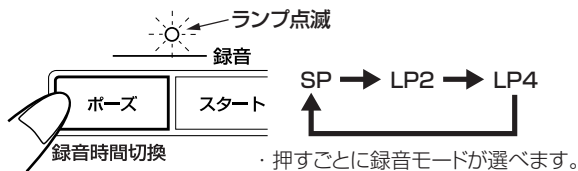
● CDの演奏とMDの録音が一緒にスタートします。デジタル録音のため録音レベルは、調節できません。

1 録音したいCDを選び止めておく

例：CD1を録音するとき

・選んだCDのみが録音できます。

2 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にして差し込みます。

3 録音ポーズ／録音時間切換ボタンを押して録音モードを選ぶ（この間、録音ポーズのままです）

・押すごとに録音モードが選べます。

4 CD録音ボタンを押す➡ 録音スタート

・CDの演奏とMDの録音が一緒にスタートします。これをシンクロ録音といいます。1曲目から録音されます。

● **CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけられ、曲番号も変わります。**
● **録音すると、CDにつけた名前（ディスクタイトル）がMDのトラックタイトルにコピーされます。CDテキスト対応のCDの場合は、トラックタイトルがMDのトラックタイトルにコピーされます。**

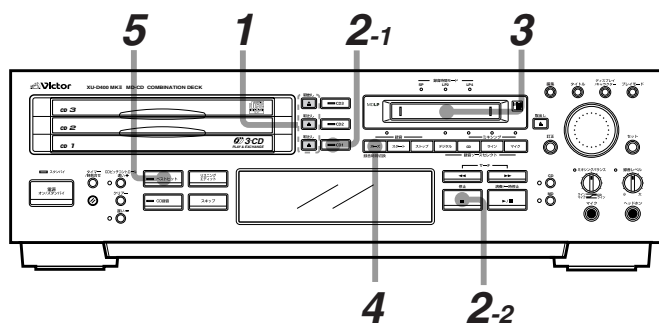
● **MDの録音が終わると**
「UTOC WRITING」表示のあと自動停止します。
CDの演奏が終わったときも自動停止します（次のトレイのCDに移ります）。

● **録音中の曲番号を確認するには**
ディスプレイ／キャラクター（リモコンはディスプレイ）ボタンを押します。

● **録音を途中でやめるには**
■（停止）ボタンを押します。
「UTOC WRITING」が表示されたあと、録音が解除されます。

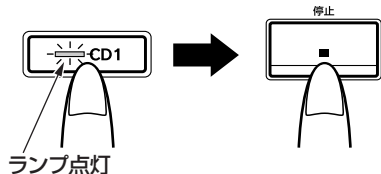
〈お知らせ〉
● MIXプログラム機能で曲をプログラムしたあとCD録音ボタンを押すと、CDのプログラム録音ができます。
● CDまたはMDが演奏中は、録音できません。
● CD録音ボタンを押すと、本機のモードと録音ソースは自動で「CD」に切り換わります。したがって録音したいCDが選ばれているときは、そのまま録音できます。
● ピッチコントロールがONになっていても、解除され標準スピードで録音されます。
● リピート演奏のモードをREPEAT1にして録音すると、最初の1曲をくり返し録音できます。この場合、曲の終わりにトラックマークはつきません。全体が一つのトラックになります。
● MDの録音が終了すると「UTOC WRITING」が表示されます。表示中に他のボタンを操作すると、MDが使えなくなる恐れがあります。
必ず「UTOC WRITING」の表示が消えてから、次の操作をしてください。

CDのベストヒット録音 ー番号順に操作します。ー

● CDの1曲目だけをMDに録音できます。デジタル録音のため録音レベルは、調節できません。

1 録音したい順にCD1～CD3にCDを入れる

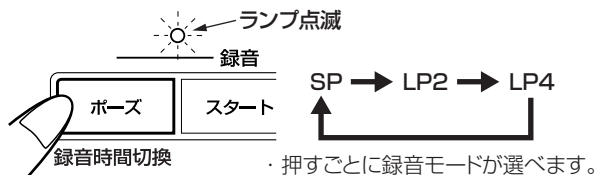
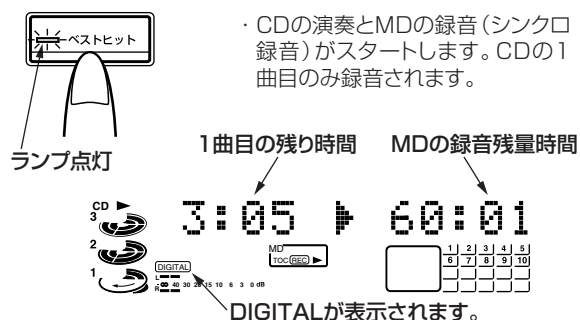
・録音が終わったCDは、他の曲を録音中に入れ換えることもできます。交換したCDは、最後のCDのあとに録音されます。

2 CD1ボタンを押してCD1を選び止めておく

例：CD1から録音するとき（最初に録音したいCD）

3 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にして差し込みます。

4 録音ポーズ／録音時間切換ボタンを押して録音モードを選ぶ （この間、録音ポーズのままです）

・押すごとに録音モードが選べます。

5 ベストヒットボタンを押す➡録音スタート

・CDの演奏とMDの録音（シンクロ録音）がスタートします。CDの1曲目のみ録音されます。

● **CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけられ、曲番号も変わります。**

● **録音すると、CDにつけた名前（ディスクタイトル）がMDのトラックタイトルにコピーされます。CDテキスト対応のCDの場合は、トラックタイトルがMDのトラックタイトルにコピーされます。**

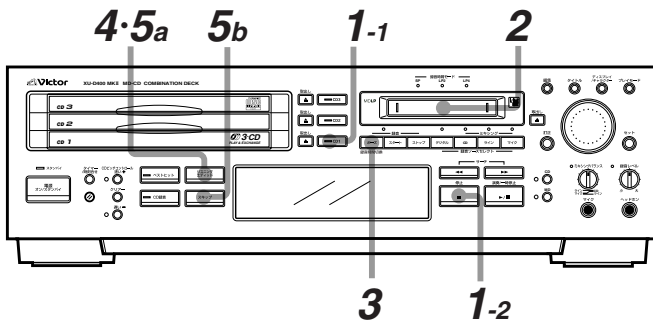
● **MDの録音が終わると**
「UTOC WRITING」表示のあと自動停止します。
最後のCDの演奏が終わったときも自動停止します。

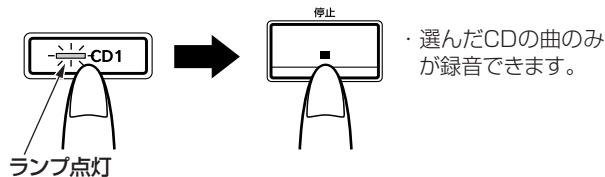
● **録音を途中でやめるには**
■（停止）ボタンを押します。
「UTOC WRITING」が表示されたあと、録音が解除されます。

〈お知らせ〉

● ベストヒットボタンを押すと、本機のモードと録音ソースは自動で「CD」に切換わります。
● ピッチコントロールがONになっていても、解除され標準スピードで録音されます。
● リピート演奏のモードは解除されます。
● MDの録音が終了すると「UTOC WRITING」が表示されます。表示中に他のボタンを操作すると、MDが使えなくなる恐れがあります。
必ず「UTOC WRITING」の表示が消えてから、次の操作をしてください。
● 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎなおしてください。

CD のリスニングエディット録音 ー番号順に操作します。ー

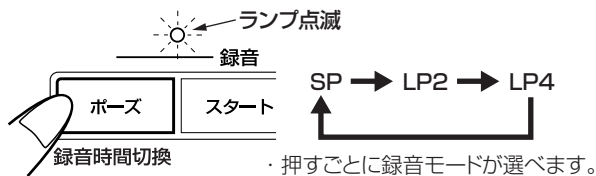
● 好きな曲だけをプログラムして録音できます。デジタル録音のため録音レベルは、調節できません。

1 先に録音したいCDを選び止めておく

例：CD1 から録音するとき

・選んだCDの曲のみが録音できます。

2 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にして差し込みます。

3 録音ポーズ／録音時間切換ボタンを押して録音モードを選ぶ （この間、録音ポーズのままです）

・押すごとに録音モードが選べます。

4 リスニングエディットボタンを押す

・1 曲目から演奏がスタートし、「LISTENING EDIT」がスクロール表示され1曲目の演奏時間とMDの録音残量が表示されます。MD は録音・一時停止になります。

5 プログラムする（演奏中に操作する）

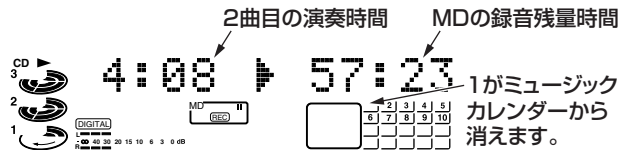
a. 録音したい曲のとき

・メモリーされ次の曲に移ります。

b. 録音しない曲のとき

・メモリーしないで次の曲に移ります。

● この操作をくり返してプログラムします。演奏した曲やスキップした曲の曲番号がミュージックカレンダーから消えます。

● 1曲目をメモリーしたとき

● MDの録音残量が少なくなると、録音できる曲を自動で探します。（全CD）

・録音できる曲があったときは、演奏時間が表示されます。リスニングエディットボタンを押してプログラムします。

・録音できる曲がないときは、プログラム1から録音が自動でスタートします。（シンクロ録音）

6 すべてのCDのプログラムが終わると、選んだ曲の録音が自動でスタート

（100曲までプログラムしたときも同じでシンクロ録音になります）

● **プログラムの途中で録音するには**
録音スタートボタンを押すと、プログラムした曲だけ録音されます。

● **CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけられ、曲番号も変わります。**

● **録音すると、CDにつけた名前（ディスクタイトル）がMDのトラックタイトルにコピーされます。CDテキスト対応のCDの場合は、トラックタイトルがMDのトラックタイトルにコピーされます。**

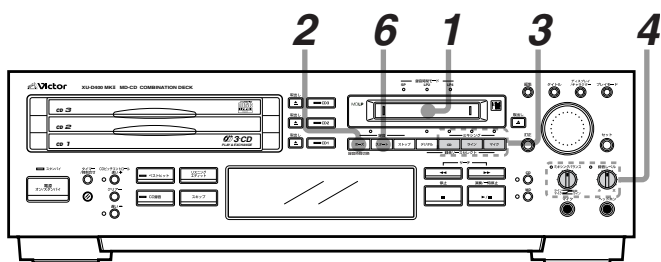
● **MDの録音が終わると**
「UTOC WRITING」表示のあと自動停止します。
最後のCDの演奏が終わったときも自動停止します。

● **録音を途中でやめるには**
■（停止）ボタンを押します。
「UTOC WRITING」が表示されたあと、録音が解除されます。

● **プログラムをやり直すには**
■（停止）ボタンを押すとリスニングエディットのモードが解除されプログラムも取り消されます。手順 **4** から操作をやり直してください。

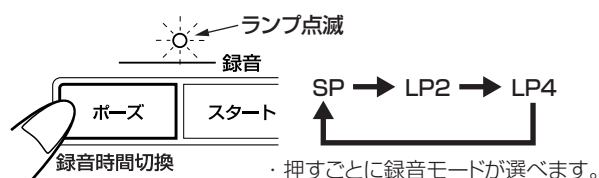
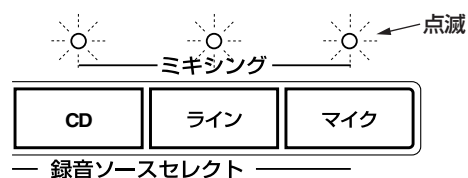
〈お知らせ〉
● プログラムは最大100曲までできます。ただし同じ曲は2回プログラムできません。
● 録音したくないCDは、CDトレイから取出しておいてください。
● リピート演奏のモードは解除されます。
● MDの録音が終了すると「UTOC WRITING」が表示されます。表示中に他のボタンを操作すると、MDが使えなくなる恐れがあります。
必ず「UTOC WRITING」の表示が消えてから、次の操作をしてください。

ミキシング録音 ー番号順に操作します。ー

● アナログ録音になりますので録音レベルの調節ができます。

1 録音用のMDを入れる

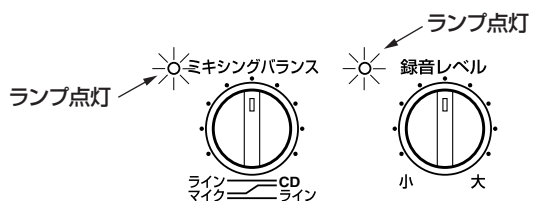
・ラベル面を上にして差し込みます

2 録音ポーズ／録音時間切換ボタンを押して録音モードを選ぶ （この間、録音ポーズのままです）

・押すごとに録音モードが選べます。

3 録音ソースをいずれか2つ選ぶ

・同じボタンをもう一度押すと、取り消すことができます。

- **・CD＋ライン**　：CDとライン入力のミキシング録音
- **・CD＋マイク**　：CDとマイク入力のミキシング録音
- **・ライン＋マイク**：ライン入力とマイク入力のミキシング録音

● 選んだ録音ソースのランプが点灯に変わり、他は消灯します。

● ミキシング録音は、アナログ録音になります。録音レベルとミキシングバランスのランプが点灯します。

〈お知らせ〉

● 録音がスタートしたあとは、録音ソースの切換えはできません。いったん録音ストップボタンを押してから録音ソースを選んでください。

● 先に録音ソースを選んでから録音ポーズにすることもできます。

4 録音レベルとミキシングバランスを調節する

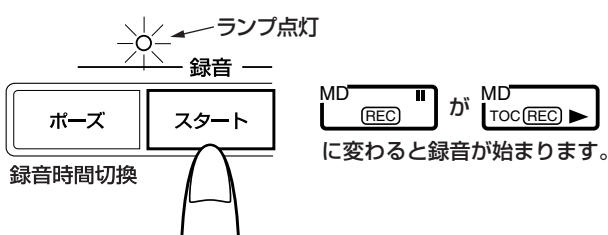
・一番大きな音が入力されたときレベルメーターの0dB表示を超えない音量に調節する。

CD+ライン	CDの音量が下がる	ライン入力の音量が下がる
CD+マイク	CDの音量が下がる	マイク入力の音量が下がる
ライン+マイク	ライン入力の音量が下がる	マイク入力の音量が下がる

5 録音ソースの音を出す

● CDとミキシング録音の場合、CD1ボタンを押すとCD1➡CD2➡CD3の順に録音できます。

6 録音スタートボタンを押す ➡ 録音スタート

に変わると録音が始まります。

● **MDの録音が終わると**
「UTOC WRITING」表示のあと自動停止します。

● **録音を途中でやめるときは**
録音ストップボタンを押します。

〈お知らせ〉

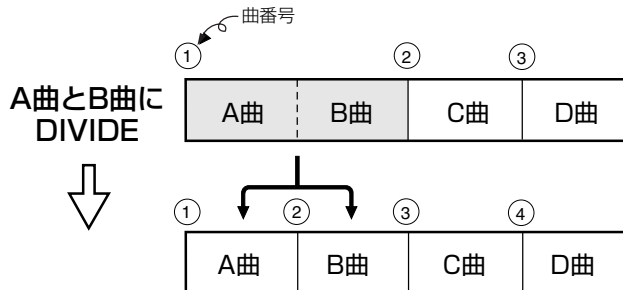
● **CDのミキシング録音をすると**
CDにつけた名前（ディスクタイトル）がMDのトラックタイトルにコピーされます。CDテキスト対応のCDの場合は、トラックタイトルがMDのトラックタイトルにコピーされます。

● MDの録音が終了すると「UTOC WRITING」が表示されます。表示中に他のボタンを操作すると、MDが使えなくなる恐れがあります。
必ず「UTOC WRITING」の表示が消えてから、次の操作をしてください。

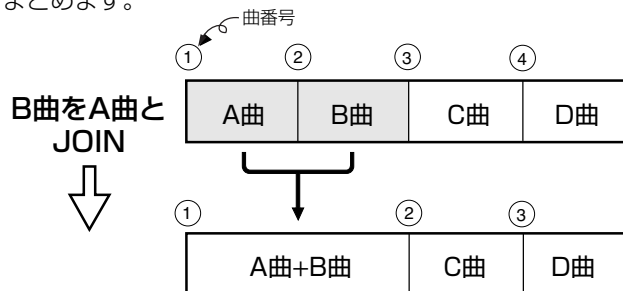
MDの編集について

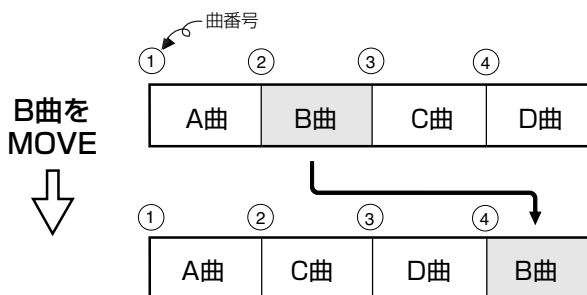
MDは録音・再生の他に編集という機能を持っています。録音した曲を好きなところでつないだり、分けたり、消すことができます。またMDや曲に名前をつけることもできます。

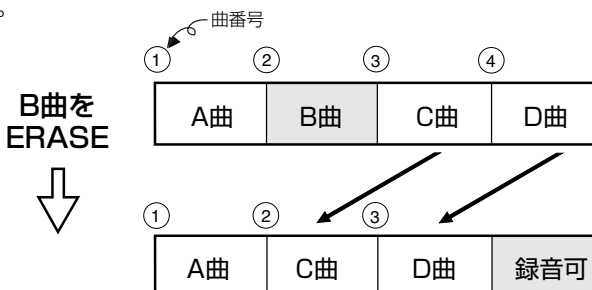
曲を分ける(DIVIDE)➡ 35ページ参照

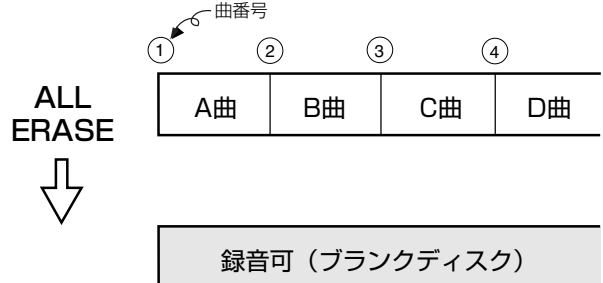
曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマーク * を追加し、曲を分けます。

* トラックマークとは…
曲ごとの頭の部分に頭だしのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号です。

曲をつなげる(JOIN)➡ 36ページ参照

トラックマークを削除し、となりあう 2 つの曲を 1 つの曲にまとめます。

曲を移動する(MOVE)➡ 37ページ参照

好きな順番に曲を移動することができます。

1曲を消す(ERASE)➡ 38ページ参照

不要な曲やナレーションなどを素早く消すことができます。消した部分は、無音部分で残らず後ろの曲が前につめられます。

全部の曲を消す(ALL ERASE)➡ 39ページ参照

全部の曲を一度に消すことができます。ブランクディスクになります。

MDや曲に名前をつける(TITLE)➡ 40ページ参照

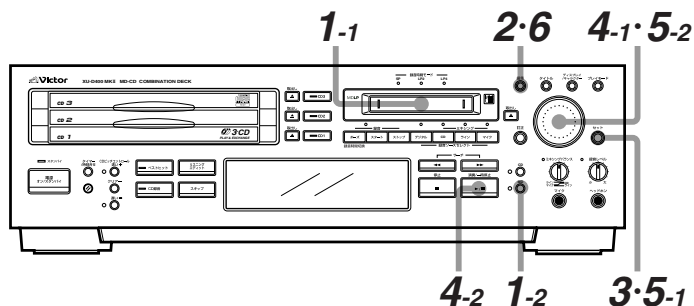
録音済みの MD にディスク名や曲名をつけることができます。文字の種類は、「カタカナ、英大文字／記号、英小文字／記号、数字」があります。

〈お知らせ〉

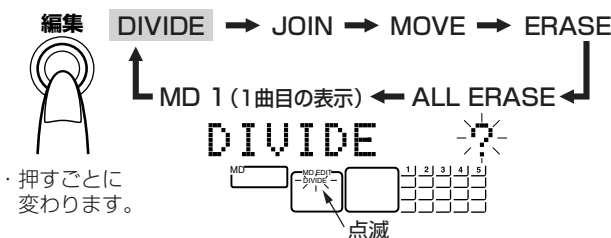
- [文字情報 英語] のマークがついたMDソフトは、アルバム名や曲名などの文字情報が書き込まれており、表示することができます。
- 編集の操作は、MDが誤消去防止状態になっているとできません。誤消去防止つまみを閉じた状態に戻してください。
- **MDに入力できる文字数について**
  1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大32文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。カタカナを使用したときも1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。またスペース(空白)は、文字と同じ量のデータを必要としています。ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭に「LP:」とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
  例:
  ・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
  ・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

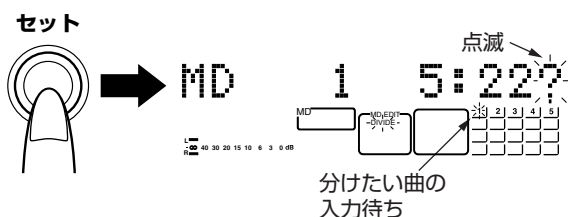
ご注意

- 「UTOC WRITING」や「EDITING」が表示される前に、電源コードをコンセントから抜くと編集した内容は、MD に記録されません。

曲を分ける（DIVIDE） ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDを入れ、MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

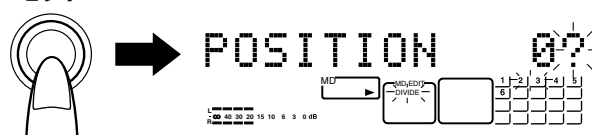
・曲数と演奏時間が表示されます。

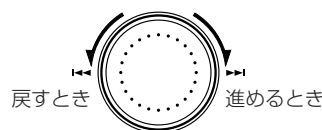
2 編集ボタンを押して「DIVIDE」を選ぶ

・押すごとに変わります。

3 セットボタンを押す

4 ジョグダイヤルで分けたい曲を選び▶/❚❚ボタンを押して演奏する

・リモコンの数字ボタンで曲を選ぶと、分けたい曲のダイレクト演奏になります。

5 分けたいところでセットボタンを押す

例：2曲目を分けるとき

・ミュージックカレンダーに分けた曲と次の曲番号が点滅表示され、分けたところから４秒後がくり返し演奏されます。

● **ジョグダイヤルで分ける位置が微調節できます。**

POSITION-128～128（前後約８秒）の範囲で移動できます。微調節すると、移動した所から４秒後がくり返し演奏されます。

6 編集ボタンを押す➡ 編集モード終了

・「EDITING」が表示され、曲番号が１つ増えます。変更内容が記録されます。
・演奏が自動停止します。

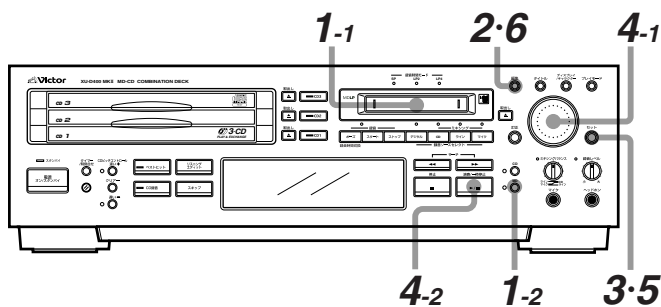
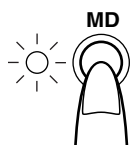
〈お知らせ〉

- 手順 **4** で曲を間違えたときは…
  セットボタンを押す前にジョグダイヤルまたはリモコンの数字ボタンで選び直します。
- DIVIDEを途中で中止するときは…
  編集ボタンを押します。手順**5** でセットボタンを押したあとは、先に訂正ボタンを押してから編集ボタンを押します。
- 「EDITING」表示中は、電源コードを抜いたり本機に振動を与えないでください。
  MDの演奏ができなくなる恐れがあります。

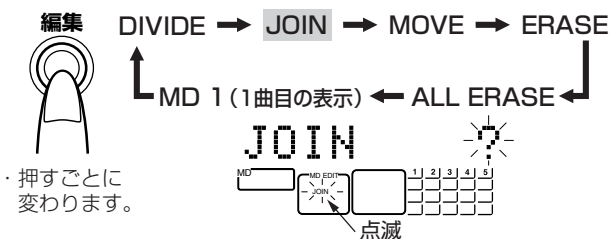
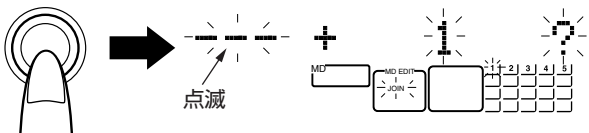
曲をつなげる（JOIN） ー番号順に操作します。ー

（ジョイン）

1-1 2·6 4-1

4-2 1-2 3·5

1 編集したいMDを入れ、MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

・曲数と演奏時間が表示されます。

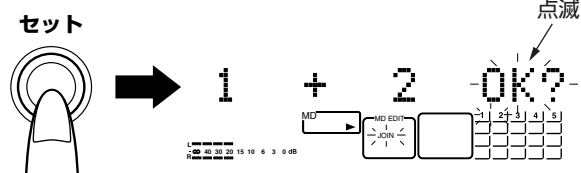
2 編集ボタンを押して「JOIN」を選ぶ

・押すごとに変わります。

3 セットボタンを押す

4 ジョグダイヤルでつなげたい曲を選び►/IIボタンを押して演奏する

・**1つ前の曲とつなげることができます。**
リモコンの数字ボタンで曲を選ぶと、つなげたい曲のダイレクト演奏になります。

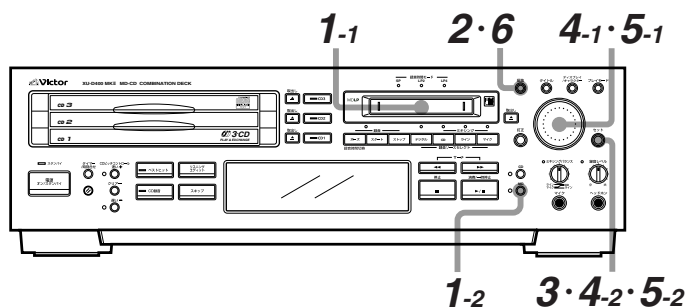
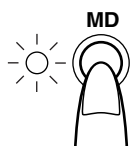
5 セットボタンを押す

例：2曲目をつなげるとき

6 編集ボタンを押す ➡ 編集モード終了

・「EDITING」が表示され、曲番号が1つ減ります。変更内容が記録されます。
・演奏が自動停止します。

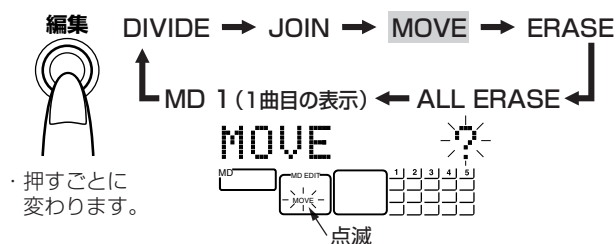
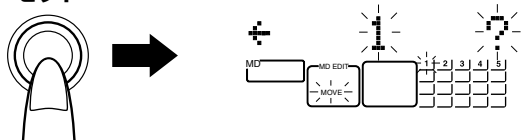
〈お知らせ〉

- 手順 **4** で曲を間違えたときは･･･
  セットボタンを押す前にジョグダイヤルまたはリモコンの数字ボタンで選び直します。
- JOINを途中で中止するときは･･･
  編集ボタンを押します。手順 **5** でセットボタンを押したあとは、先に訂正ボタンを押してから編集ボタンを押します。
- 「EDITING」表示中は、電源コードを抜いたり本機に振動を与えないでください。
  MDの演奏ができなくなる恐れがあります。

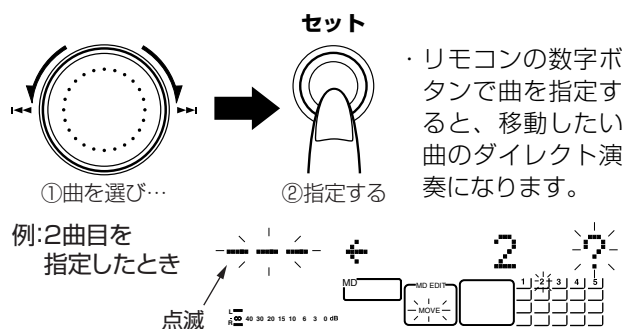
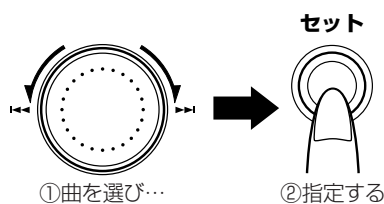
曲を移動する（MOVE） ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDを入れ、MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

・曲数と演奏時間が表示されます。

2 編集ボタンを押して「MOVE」を選ぶ

DIVIDE ➡ JOIN ➡ MOVE ➡ ERASE ➡ ALL ERASE ➡ MD 1（1曲目の表示）➡ DIVIDE

・押すごとに変わります。

3 セットボタンを押す

4 ジョグダイヤルで移動したい曲を選びセットボタンを押して演奏する

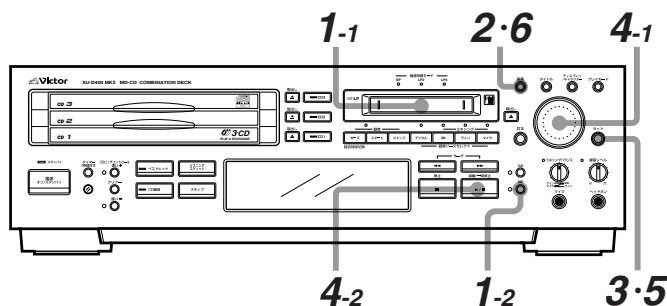
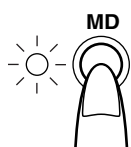
・リモコンの数字ボタンで曲を指定すると、移動したい曲のダイレクト演奏になります。

5 ジョグダイヤルで移動先を選びセットボタンを押す

例:4曲目に移動するとき

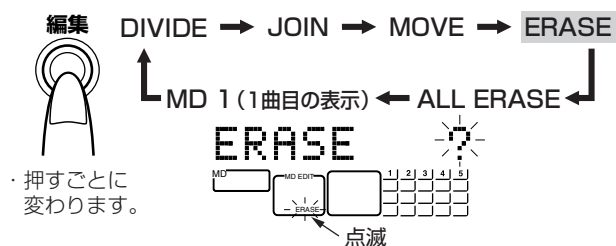
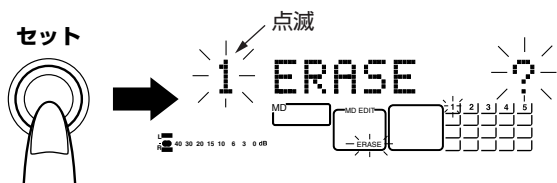
6 編集ボタンを押す ➡ 編集モード終了

・「EDITING」が表示され、曲順が変わります。変更内容が記録されます。

〈お知らせ〉

- 手順 **4** および **5** で曲を間違えたときは･･･
  セットボタンを押す前にジョグダイヤルまたはリモコンの数字ボタンで選び直します。
- MOVEを途中で中止するときは･･･
  編集ボタンを押します。手順 **5** で移動先の曲を選んだあとは、先に訂正ボタンを押してから編集ボタンを押します。
- 「EDITING」表示中は、電源コードを抜いたり本機に振動を与えないでください。
  MDの演奏ができなくなる恐れがあります。

1曲を消す（ERASE）　ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDを入れ、MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

・曲数と演奏時間が表示されます。

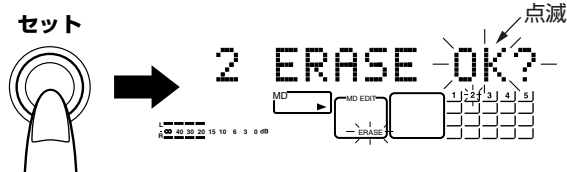
2 編集ボタンを押して「ERASE」を選ぶ

・押すごとに変わります。

3 セットボタンを押す

4 ジョグダイヤルで消したい曲を選び►/IIボタンを押して演奏する

（曲の確認ができます）

・リモコンの数字ボタンで曲を選ぶと、消したい曲のダイレクト演奏になります。曲を演奏しなくても消去できます。

5 セットボタンを押す

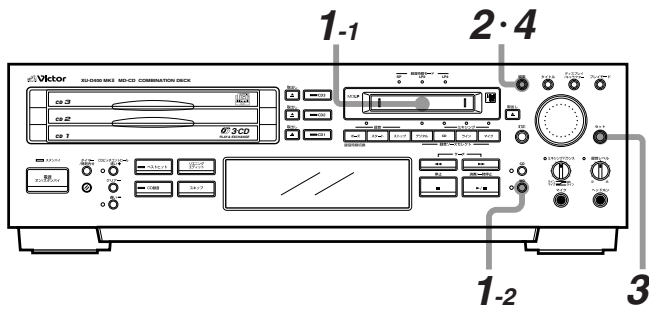
例：2曲目を消すとき

6 編集ボタンを押す ➡ 編集モード終了

・「EDITING」が表示され、2曲目が消えます。変更内容が記録されます。
・演奏が自動停止します。

〈お知らせ〉

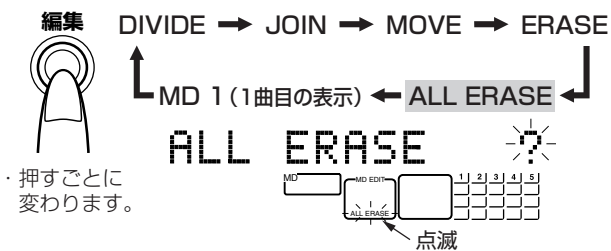
- 一度消去すると録音内容は元に戻りません。
  大切な録音が入っているMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください。➡ 48 ページ参照
- 手順 **4** で曲を間違えたときは･･･
  セットボタンを押す前にジョグダイヤルまたはリモコンの数字ボタンで選び直します。
- ERASEを途中で中止するときは･･･
  編集ボタンを押します。手順 **5** でセットボタンを押したあとは、先に訂正ボタンを押してから編集ボタンを押します。
- 「EDITING」表示中は、電源コードを抜いたり本機に振動を与えないでください。
  MDの演奏ができなくなる恐れがあります。

全部の曲を消す(ALL ERASE) ー番号順に操作します。ー

オール　イレース

1 編集したいMDを入れ、MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

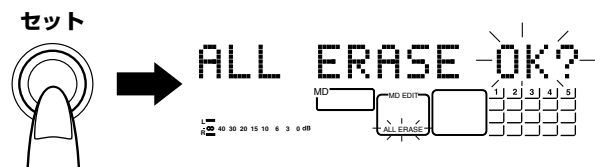
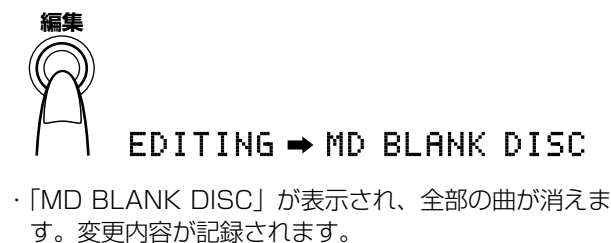
・曲数と演奏時間が表示されます。

2 編集ボタンを押して「ALL ERASE」を選ぶ

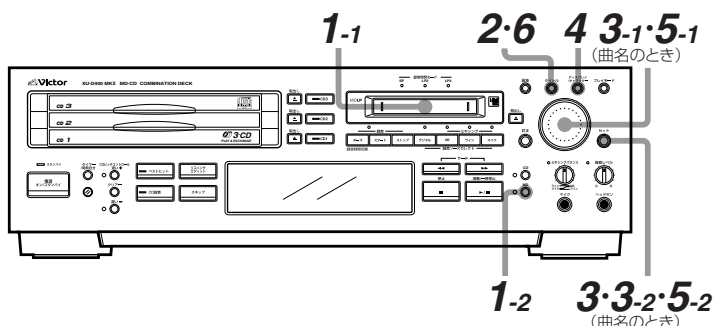
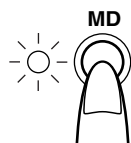
・押すごとに変わります。

3 セットボタンを押す

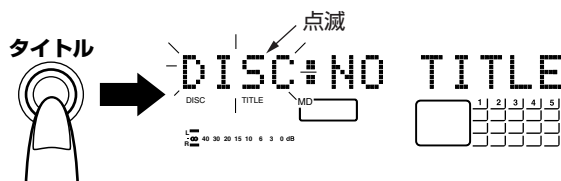
4 編集ボタンを押す ➡ 編集モード終了

EDITING ➡ MD BLANK DISC

・「MD BLANK DISC」が表示され、全部の曲が消えます。変更内容が記録されます。

〈お知らせ〉

- ALL ERASEを途中で中止するときは･･･
  編集ボタンを押します。セットボタンを押したあとは、先に訂正ボタンを押してから編集ボタンを押します。
- 「EDITING」表示中は、電源コードを抜いたり本機に振動を与えないでください。
  MDの演奏ができなくなる恐れがあります。

MDにディスク名や曲名をつける（TITLE）

1 編集したいMDを入れ、MDボタンを押して本機のモードを「MD」にする

・曲数と演奏時間が表示されます。ノーマル演奏のモードになっていないと、名前をつけることはできません。

2 タイトルボタンを押す

・停止状態のとき

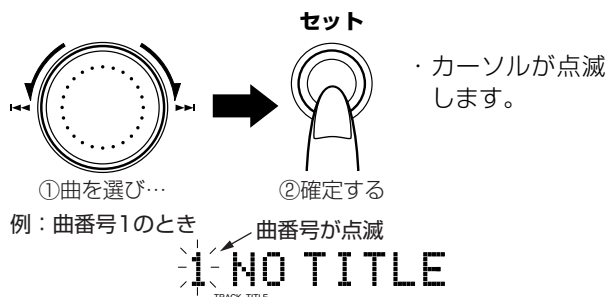
3 ●ディスク名をつけるとき（DISC TITLE）セットボタンを押す

カーソル（点滅）　入力される文字（点滅）

●曲名をつけるとき（TRACK TITLE）
名前をつけたい曲をジョグダイヤルで指定し、セットボタンを押す

・カーソルが点滅します。

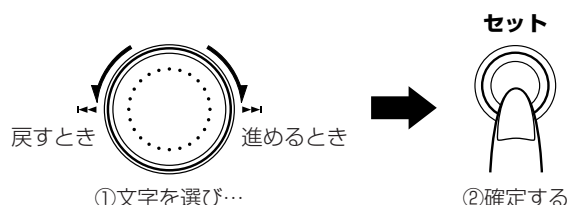
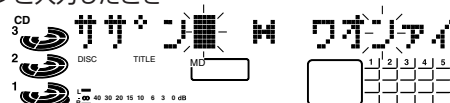
例：曲番号1のとき　曲番号が点滅

1 NO TITLE

● 手順 **3** のとき、ジョグダイヤルで選べる曲番号は、MDに録音されている曲番までです。

4 ディスプレイ／キャラクターボタンで文字の種類を選ぶ

・押すごとに変わります。
（表示窓に入力される文字が表示されます）

・詳しくは ➡ 42 ページ「文字配列表」参照

5 ジョグダイヤル ➡ セットボタンで名前を入力する（最大32文字まで）

例：サザンと入力したとき

・間違えたときは訂正ボタンで取り消します。
・手順 **4** と **5** のくり返しで好きな名前を入力します。
・途中の文字を消したいときは ◀◀ ボタンでカーソルを合わせ訂正ボタンを押します。そのあと文字を選びセットボタンを押すと、文字の修正ができます。
・スペース（空白）は、文字入力中に ▶▶ ボタンを押すか、またはジョグダイヤルで（空白）を選びます。

6 タイトルボタンを押す ➡ 編集モード終了

・「EDITING」のあと名前が表示され、名前が記録されます。
・他の曲にも名前をつけるときは…手順 **2** から操作をくり返します。

● **途中で操作を止めるときは･･･**
タイトルボタンを押します。それまで入力した文字が登録されます。

〈お知らせ〉
● 入力中の文字は5文字まで表示できます。6文字目を入力すると前に送られます。
● 「EDITING」表示中は、電源コードを抜いたり本機に振動を与えないでください。
MDの演奏ができなくなる恐れがあります。

文字配列表

本機では、録音したMDや曲にアルバム名・曲名などのタイトル（なまえ）を書き込むことができます。使える文字は次のとおりです。また、CDトレイに入れたCDにタイトル（なまえ）を書き込むこともできます。

カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
ャ	ュ	ョ	ッ	
(空白)	ー	゜	゛	

英大文字

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y
Z				
(空白)	!	”	#	$
%	&	’	(	)
*	+	,	−	.
／	:	;	<	=
>	?	@		

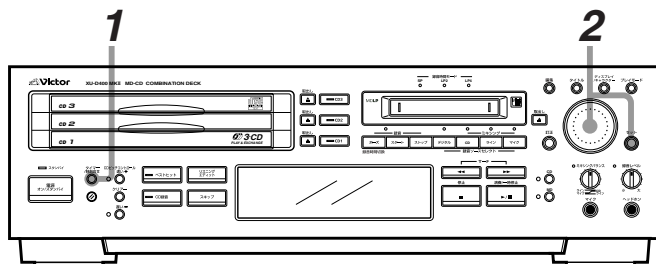
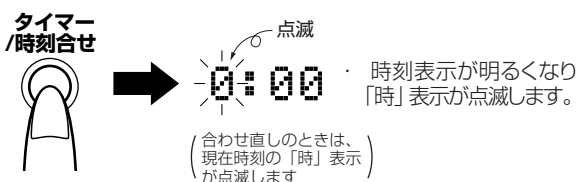
英小文字

a	b	c	d	e
f	g	h	i	j
k	l	m	n	o
p	q	r	s	t
u	v	w	x	y
z				
(空白)	!	”	#	$
%	&	’	(	)
*	+	,	−	.
／	:	;	<	=
>	?	@		

数字

0	1	2	3	4
5	6	7	8	9

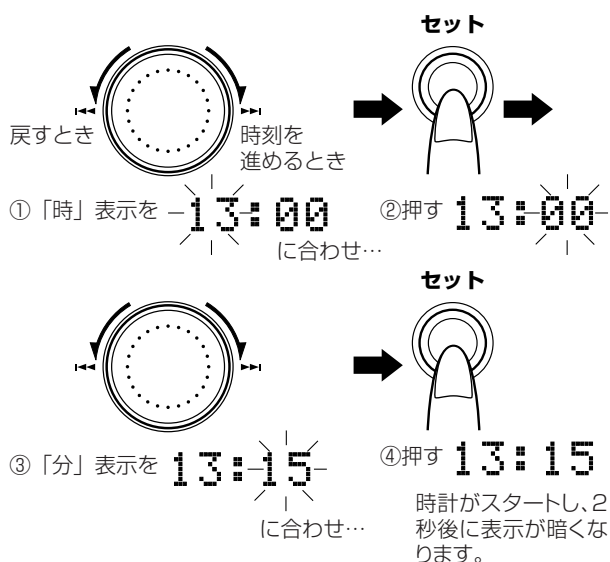
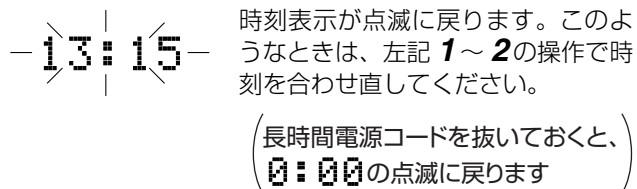
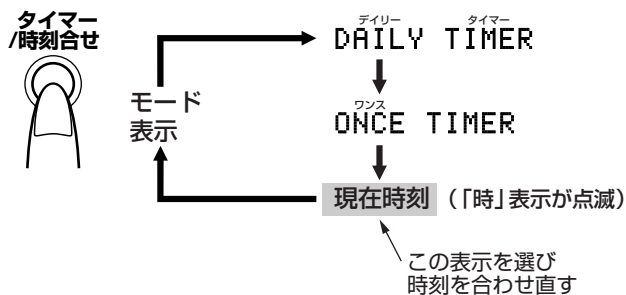
時計の合わせかた ー番号順に操作します。ー

現在時刻を合わせるには（初めてお使いになるとき）

● **例：午後1時15分（13：15）に合わせるには**…（電源「切」の状態で合わせます）
本機の時刻表示は「24 時間表示」方式です。

● **正確に時刻を合わせるには**
テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。

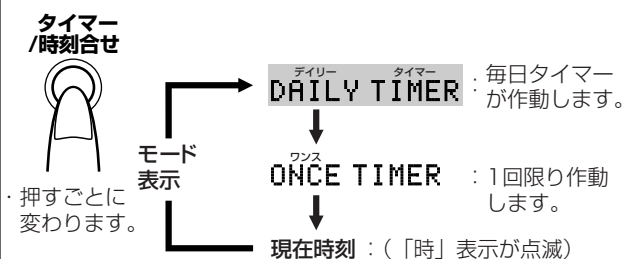
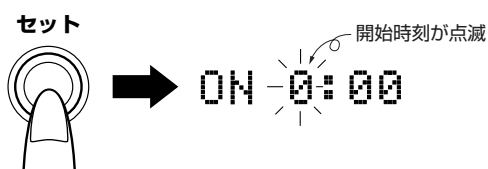
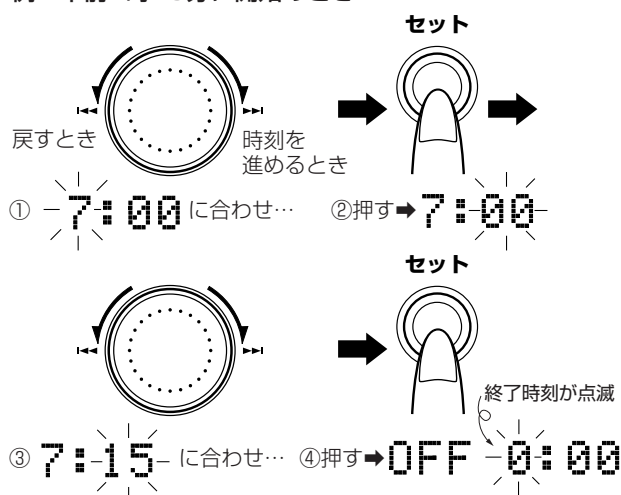
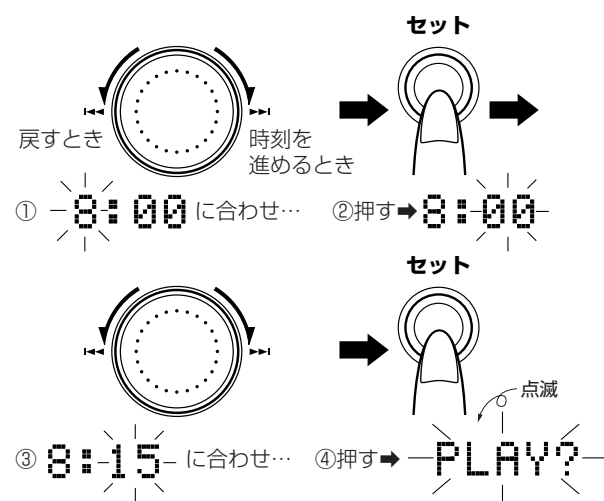
● **停電や電源コードが抜いてあったときは**

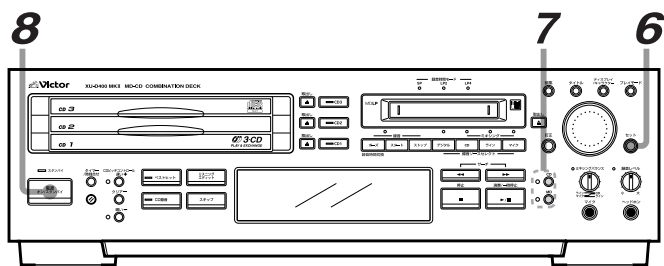
13:15

時刻表示が点滅に戻ります。このようなときは、左記 ***1***～***2***の操作で時刻を合わせ直してください。

（長時間電源コードを抜いておくと、0:00の点滅に戻ります）

● **電源「入」で時刻を合わせ直すには**
電源を入れたあと、タイマー/時刻合せボタンを押して現在時刻の表示を選び、合わせ直します。

〈お知らせ〉
● 現在時刻を合わせていないときや停電があったときは、DAILY TIMERとONCE TIMER表示にはなりません。
● 「分」表示を合わせているとき訂正ボタンを押すと、「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正するとき使うと便利です。

タイマーの使いかた　ー番号順に操作します。ー

タイマー再生（目覚まし再生）

45 ページ「タイマー再生」または
46 ページ「タイマー録音」へ続く

〈お知らせ〉
- タイマー予約をする前に、現在時刻を正しく合わせておいてください。➡ 43 ページ参照
- 「分」表示を合わせているとき訂正ボタンを押すと、「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正するとき使うと便利です。
- タイマー設定の操作中は、MDやCDの操作はできません。

44 ページより続き（PLAY? 表示が点滅中に…）

6 セットボタンを押す

タイマー予約の内容が1回表示され、モード表示に戻ります。

・REC? が点滅するときは、ジョグダイヤルを回して PLAY? の点滅を選びます。

7 聞きたいモードにし、MDまたはCDを入れる

● MDのとき

聞きたいMDを入れておく。

● CDのとき

聞きたいCDをCD1～CD3に入れておく。

8 電源ボタンを押して電源を切る

・表示窓に現在時刻とタイマー表示 DAILY ▶ が表示されます。（DAILY TIMER を選んだとき）

● **接続しているレシーバー等のソースを本機に合わせ、音量を適度に調節しておきます。タイマーも本機のタイマーの動作時刻に合わせておきます。**

●
●
●

● 予約した開始時刻になると電源が入りディスクの情報を読み取ったあとタイマー再生が始まり、終了時刻で本機の電源が切れます。

● タイマー予約の確認

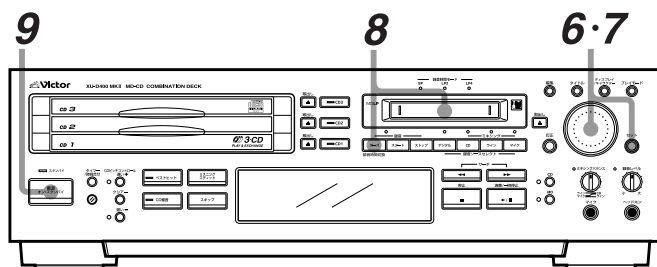
・セットボタンを押す

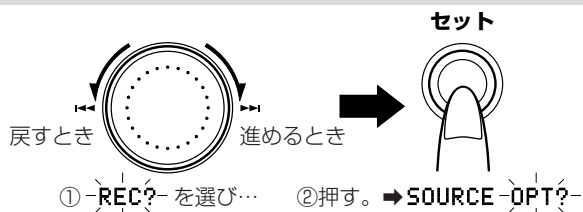
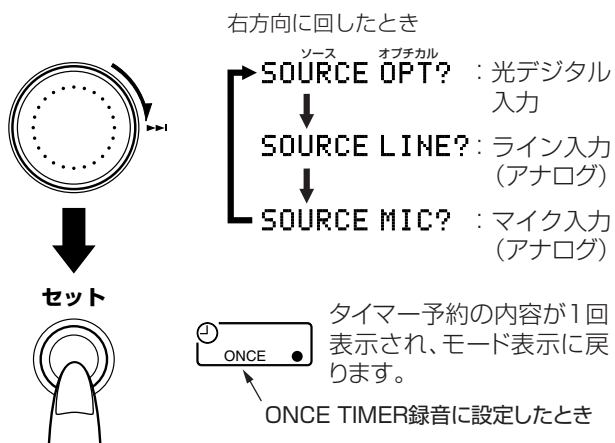
電源を入れ、タイマー/時刻合せボタンを押してタイマーのモードを選びセットボタンを押します。
押すごとに
「開始時刻」➡「終了時刻」➡「タイマー再生（または録音）のモード」が表示され、さらに1回自動で表示されます。
元のモードの表示に戻ると終わりです。

● タイマー動作の取り消し

電源を入れ、タイマー/時刻合せボタンを押してタイマーのモードを選び訂正ボタンを押します。
タイマー表示（ DAILY ▶ または ONCE ▶ ）が消えて取り消されます。

タイマーの使いかた（つづき）ー番号順に操作します。ー

タイマー録音（他の機器の音を留守録音）

44 ページより続き（PLAY? 表示が点滅中に…）

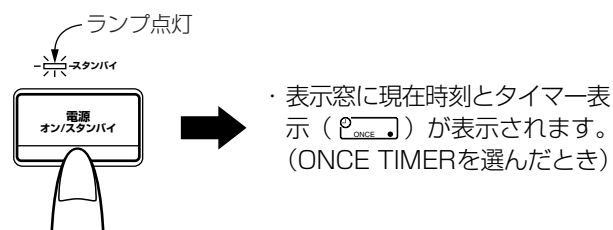
6 ジョグダイヤルで「REC?」を選びセットボタンを押す

7 ジョグダイヤルで録音ソースを選びセットボタンを押す

8 録音用のMDを入れ、録音ポーズボタンで録音モードを選ぶ

・ラベル面を上にし、▶または➡の表示に従って入れる。

・録音ポーズボタンを押すごとに

が選べます。

9 電源ボタンを押して電源を切る

・表示窓に現在時刻とタイマー表示（ONCE）が表示されます。（ONCE TIMERを選んだとき）

- **接続したソース機器のタイマーを、本機のタイマーの動作時刻に合わせておきます。**
  （マイク入力の場合は、本機にマイクを接続しておきます）

・
・
・

- 予約した開始時刻になると、電源が入りディスク情報（約10秒）を読み取ったあと録音がスタートします。終了時刻で本機の電源が切れます。開始時刻は１分程度余裕を取ってください。
  ONCE TIMERの場合、１回動作が終了すると、タイマーの予約は取り消されます。

〈お知らせ〉

- デジタル入力でタイマー録音がスタートしたとき、デジタル信号の入力がないときは、「DIGITAL IN UNLOCK」がスクロール表示され録音されません。
- BS放送などをタイマー録音する場合、タイマーの開始時刻・終了時刻を予約するときは、あらかじめ希望する放送局が正しく受信できるか確認しておいてください。
- 停電や電源コードが抜いてあったときは、正しい時刻にタイマーが動作しません。
  このようなときは、時計を合わせ直してからタイマー予約をし直してください。

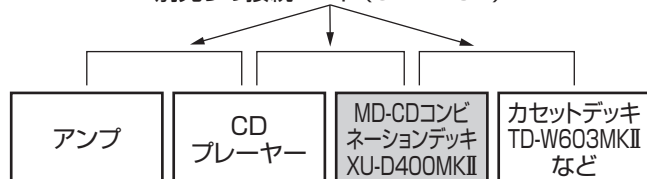
コンピュリンク機能について

コンピュリンクとは

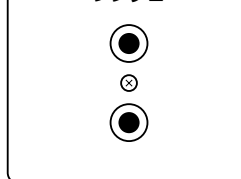
単品コンポーネントでありながら、一体型コンポのような簡単操作を可能にしたのが、コンピュリンク·リモート·コントロール·システム（略称：コンピュリンク）機能です。

COMPU LINK-3 SYNCHRO または **COMPU LINK-1 SYNCHRO** 端子を持つ

当社の各機器を相互に接続することにより、簡単操作が実現できます。

接　続

当社製品のコンピュリンクには、「コンピュリンク３」と「コンピュリンク１」があります。コンピュリンク３は、コンピュリンク１に一部の機能を追加したもので、互換性があります。

コンピュリンクの種類の見分けかた

コンピュリンク-3
シンクロ

製品背面の端子に表示されています。
たとえば、

COMPU LINK-3 SYNCHRO

と表示されている製品は、コンピュリンク３に対応しています。

〈お知らせ〉

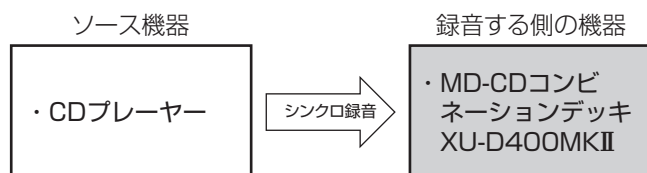
● 本機背面のモードスイッチがTDのときは、カセットデッキとのコンピュリンク動作はできません。カセットデッキと組み合わせて使うときは、MDに切換えてください。

（モードスイッチの切換えは、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行なってください）

シンクロ録音

ソースの再生開始に同期して録音が自動的に開始します。

操作のしかた

● 本機でシンクロ録音する

例:CDプレーヤー ➡ MD-CDコンビネーションデッキ（本機）

1. CD プレーヤーに CD を入れる
　・プログラム順に録音したいときは、プログラムする。

2. 本機に録音用 MD を入れ、本機のモードを「MD」にする

3. デジタルボタンを押す（デジタル接続のとき）
　・アナログ接続のときはラインボタンを押す。

4. 録音ポーズボタンを押す
　・必ず停止状態から操作してください。

5. 録音ポーズボタンを押して録音モードを選ぶ

　・押すごとに　　　　　　　　　　　が選べます。

6. CD プレーヤーの PLAY ボタンを押す
　・CD の演奏と本機の録音が自動的にスタートします。

ご注意

● 本機のモードが「MD」になっていないとシンクロ録音にはなりません。
● 他のカセットデッキから本機へのシンクロ録音はできません。

〈お知らせ〉

● 本機背面のモードスイッチをMDに切換えると、コンピュリンク上の働きはMDデッキになります。
本機は他のカセットデッキにCD（またはMD）のシンクロ録音ができます。

モード
MD　TD

（モードスイッチの切換えは、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行なってください）

操作のしかた

● 本機の音をカセットデッキでシンクロ録音する

1. 本機に演奏用のCD（またはMD）を入れ、本機のモードを「CD」（または「MD」）に切換える

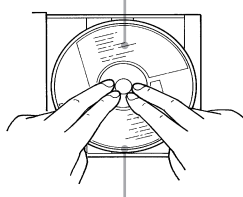
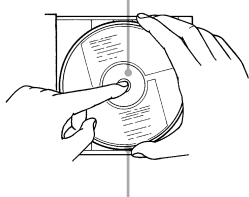
2. カセットデッキの録音（○）と一時停止（Ⅱ）ボタンを押して録音・一時停止にする
　・必ず停止状態から操作してください。

3. 本機の ▶/Ⅱ ボタンを押す
　・CD（MD）の演奏とカセットデッキの録音が自動的にスタートします。
　・本機が MIX プログラム演奏のモードになっていると、CD（MD）をプログラムした順に録音できます。

CDについて

CDの取り扱いかた

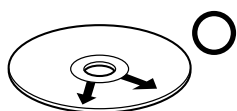
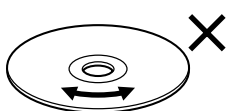
● ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ　　文字のある面を上にして…

演奏面（虹色に光っている面）に触れないように持って出す。　　上から押さえて入れる。

● CDにテープやシールなどを貼ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。

● 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っているCDをお使いください。
● ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
● CDを保管するときは、必ず専用ケースに入れて保管してください。

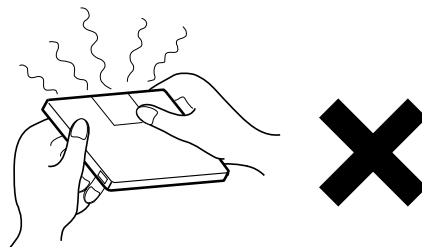
CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

● 文字のある面にセロハンテープやシールなどののりがついているときは、よくふき取ってからお使いください。
● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

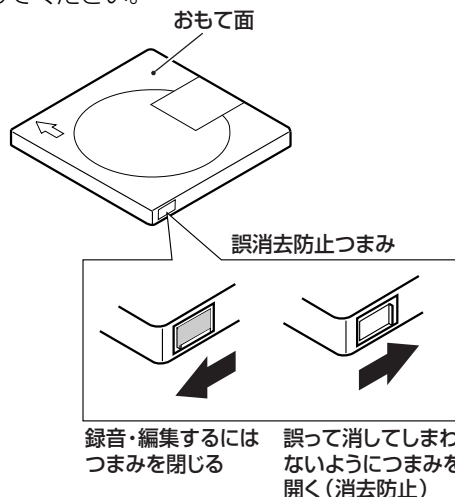
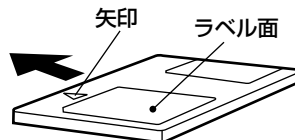
MDについて

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで
シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

置き場所に気をつけて
次のようなところには置かないでください。
・ 直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・ 風呂場など湿気の高いところ
・ 海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

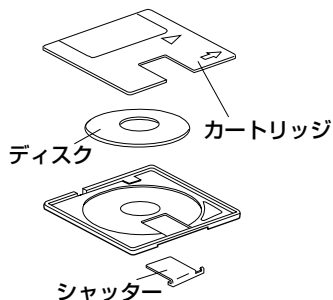
定期的にお手入れを
カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

〈お知らせ〉
● 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には貼らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
● MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。
間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

MD の技術解説

MD-80 使用で 80 分の再生または録音ができます。

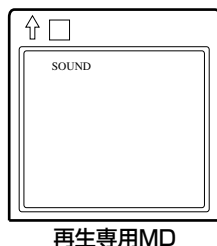
カートリッジのはたらき

ディスク自体の直径は、8 センチＣＤよりも小さな 64mm。このディスクがカートリッジの中に収められています。カートリッジの大きさも、68 × 72mm、厚さ 5mm のポケットサイズ。持ち運びや収納がとてもラクです。また、カートリッジに守られているのでほこりやゴミがつきにくく、しかも、使用中のとき以外は閉じているシャッターのおかげで、ディスクにキズや指紋をつける心配もありません。取り扱いがたいへん手軽です。

2種類のディスク

MDには、録音できる「録音用MD」と再生しかできない「再生専用 MD」との２種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクも、レーザー光を照射しその反射によって信号を読み取るという同じ方式ですが、記録のしかたが異なります。

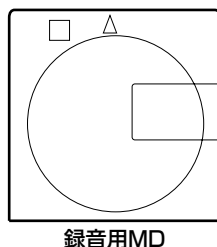
再生専用ＭＤ

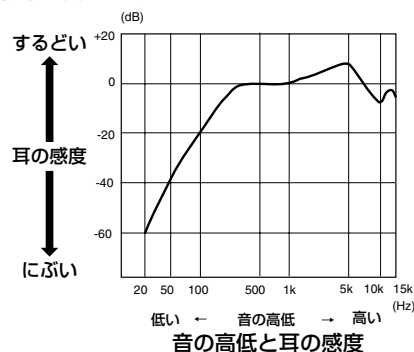
市販の MD ソフトに使用されているタイプです。録音はできません。ＣＤと同様、ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」といいます。

再生専用MD

録音用ＭＤ

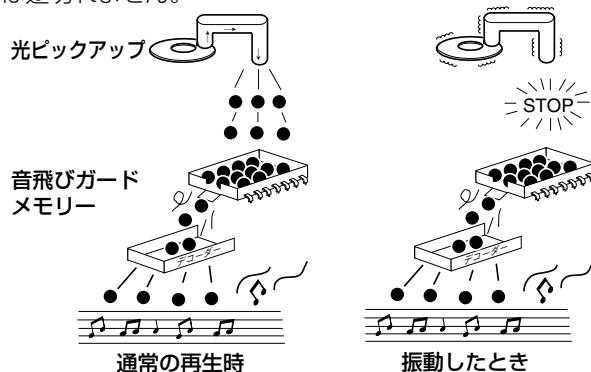
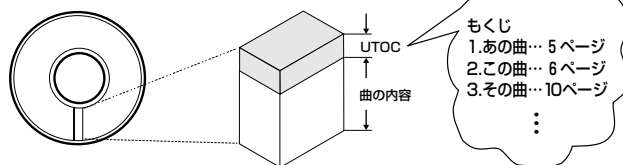
自分で録音することのできる、いわゆる「生ＭＤ」です。何度も録音しなおせるように、加工しやすい磁気によってデータが記録されます。レーザー光をあてて熱することにより磁気を消し、そこに磁気ヘッドで記録していきます。このような記録方式のディスクを〔光磁気(MO：Magneto（マグネット） Optical（オプティカル）)ディスク〕といいます。

録音用MD

ATRAC(Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング）)

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MD では、〔ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding)〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約 1/5 の量になり、小さな MD にも収めることが可能となりました。さらに ATRAC3 の場合、LP2 で元のデータの約 1/10、LP4 で約 1/20 に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

音の高低と耳の感度

音飛びガードメモリー

ＭＤを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

UTOC(User（ユーザー） Table（テーブル） of（オブ） Contents（コンテンツ）)

録音用 MD には、曲の内容とは別に、「目次（UTOC)」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

MDとしての制約

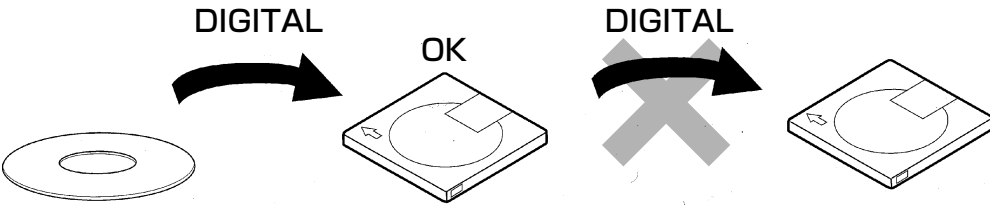
MDは、従来のカセットテープやＤＡＴとは異なる独自な方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状がでる場合があります。これらの症状は、製品の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

<table>
<tr><th>症　　状</th><th>原　　因</th></tr>
<tr><td>MDに表示された収録可能時間を使い切っていないのに、「DISC FULL」が表示される。</td><td>MDは、時間に関係なく、録音できる曲数に制限があります。曲番号が255以上になる録音はできません（最大録音曲数は254曲）。</td></tr>
<tr><td>曲番号や収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。</td><td rowspan="4">部分的に消して録音しなおす操作をくりかえすと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このようなディスクに録音すると、MDには１曲のデータが空き部分にこまかく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられてデータの長さが８秒以下の部分ができると、その曲は、JOIN機能でつなげないことがあります。また、その部分を消しても残り時間が増えません。こまかく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。</td></tr>
<tr><td>JOIN機能が、使えないことがある。</td></tr>
<tr><td>曲を消しても残り時間が増えない。</td></tr>
<tr><td>早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。</td></tr>
<tr><td>録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。</td><td>MDは、最低でも12秒間（SP：標準モード時）の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間が短くなります。</td></tr>
</table>

デジタル録音のきまり（SCMS）

ＣＤからデジタル信号のままデジタル録音したMDには、著作権などへの配慮から、次のような決まりがあります。

SCMS（Seriai Copy Management System）

MDは、ＣＤのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル·コピー·マネージメント・システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

〈お知らせ〉
- 本機を使ってＣＤの音をデジタル録音したＭＤは、他の機器でデジタルコピーすることはできません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

■私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
電　　話　03-5353-0336（代）

MDのメッセージ

メッセージ	意　　味	処　　置
MD BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDと取り換えてください。
CANNOT JOIN	ジョインできないトラックをつなげようとした。 8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。 ➡50ページ参照
DISC ERROR	MDが異常（損傷している）。	MDを取り換える。
DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超えている。 （254曲まで録音可能）	他の録音用MDと取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)ボタンでいったん停止してから操作しなおしてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音･編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除します。
SCMS CANNOT COPY	デジタル録音したソースをデジタル録音しようとした。	アナログ録音にする。

故障かな？と思う前に

ーおや？故障かな？と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。ー

症状		原因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音が出ない。	・録音されていないMDが入っている。（「MD BLANK DISC」が表示される）	・曲が録音されているMDと交換する。	・
	表示窓の時刻表示が点滅している。	・停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	43
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	16
		・寒い所から暖かい所に急に移動したため、レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、約1〜2時間待つ。	7
	特定の箇所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	48
	CDの取出しができない。	・チャイルドロックに設定してある。	・電源「切(スタンバイ)」のとき■(停止)ボタンを押しながらCD1の▲ボタンを同時に押して解除する。	18
MDレコーダー部	入れたMDが出てきてしまう。	・MDの入れかたが不完全なため。	・自動的に中に引き込まれるところまで軽くMDを押して入れ直す。	・
	MDが入らない。	・すでにMDが入っている。MD［表示］が表示されています。	・▲(MD取出し)ボタンを押してMDを取り出してから別のMDを入れる。	22
	録音ができない。	・MDが誤消去防止状態になっている。(DISC PROTECTEDが表示される)	・MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。	48
	演奏が始まらない。	・寒い所から暖かい所に急に移動したため、レンズに露がついている。	・電源を入れ、約1〜2時間待つ。	・
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	43
		・タイマー表示(◷)が表示されていない。	・タイマー/時刻合せボタンを押してDAILY TIMERまたはONCE TIMERを選び、セットボタンを押してタイマー予約を設定する。	45
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池(単3形)と交換する。	12
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	12

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは**

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っております。
万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。
そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

〈お知らせ〉

- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。
- 本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

MD-CDコンビネーションデッキの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または 54 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

52 ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでも異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お 買 い 上 げ 日	
	お買い上げ店名	☎（　　　　）　　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

別売アクセサリー

・ヘッドホン　：HP-D7
・接続コード　：CN-160G（RCAピンコード）
　CN-120A（コンピュリンク端子用）
・MDレンズクリーナー：CL-MDA
・CDレンズクリーナー：CL-CDLA
・光デジタルケーブル：XN-110SA（1m）
・ボーカルマイク：MV-K15
　MV-K8-B

● **別売りアクセサリーはお買い上げの販売店でお求めください。**

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢S.S.	(0197)22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬S.C.	(03)3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子S.C.	(0426)46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜S.C.	(045)651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	長野S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山S.S.	(076)425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺S.S	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.S.	(088)622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0106

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

< CDプレーヤー部>

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオ
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
ダイナミックレンジ	92dB（1kHz）
SN比	96dB
周波数特性	8Hz～20kHz±1dB（JEITA）
スピード調節	±12%

< MDレコーダー部>

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
録音再生時間	録音モード **SP**：80分 / **LP2**：160分 / **LP4**：320分 （MD80使用時）
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC／ATRAC3（MD**LP**）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
ダイナミックレンジ	80dB（1kHz、録音・再生）
SN比	80dB（録音・再生）
周波数特性	20Hz～20kHz±1dB（JEITA、SPモード）

<タイマー部>

タイマー形式	1日1動作（オン・オフタイマー）
時計表示	24時間表示

<共通部>

入力端子	<アナログ> マイク×1、3mV（フルスケール −12dB） 適合インピーダンス 600Ω～10kΩ ライン録音×1系統、300mV/50kΩ （フルスケール −12dB） <デジタル> オプチカル録音×1 −23dBm～−15dBm （サンプリング周波数 32kHz/44.1kHz/48kHzに対応）
出力端子	<アナログ> ライン再生×1系統、2V/3kΩ （フルスケール） ヘッドホン×1、1mW/32Ω 適合インピーダンス 8Ω～1kΩ <デジタル> オプチカル再生×1 −21dBm～−15dBm
その他の端子	コンピュリンク-3／シンクロ×2 RS-232C×1 メイク接点×12
電源	AC100V（50Hz/60Hz共用）
消費電力	電源 入（オン）時17W 待機（スタンバイ）時7W
最大外形寸法	幅435mm×高さ127mm×奥行316mm
質量	約6.1kg

付属品

- リモコン（RM-SXUD400R） ･････････ 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） ･････････ 2
- ピンコード ･････････ 2
- リモートワイヤー ･････････ 1

●JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定方法による数値です。

・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

用語索引

－ ボタンについては「各部の名前」(10 ～ 11ページ)をご覧ください。－

ア行

カ行

サ行

タ行

マ行

ハ行

ラ行

ワ行

アルファベット

この取扱説明書は、エコマーク認定の
再生紙を使用しています。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
54ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話(045)450-8950 FAX(045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、53ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0206 MMHSANSAN